JZ

EX-word

DATAPLUS 4

取扱説明書

保証書付

XD-GP5900MED
XD-SP5500MED
XD-SP5700MED

本機をご使用になる前に

はじめに

基本的な操作を覚えよう

上手に使おう

学習用コンテンツ / 脳鍛アプリを使おう

全辞典の紹介

お役立ち情報

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・本書はお読みになった後も大切に保管してください。
・本書に記載しているイラストは「XD-SP5500MED」を使用しています。あらかじめご了承ください。

CASIO

RJA518707-001V01

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ ⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● ●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。
   そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災·感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

USBケーブルについて

USBケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災·感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- ケーブルやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

USBケーブルについて

濡れた手でUSBケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。

別売のカードの取扱いについて

本機に別売のデータカード（microSD版）や市販のmicroSDメモリーカードを使用する際は、小さなお子様が飲み込まないように取り扱いに注意してください。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（+と−の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。
破裂による火災・けがの原因となります。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。
内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

医療電子機器に近づけない

ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部（胸のポケットなど）から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。
万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

⚠ 注意

USBケーブルについて

USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない（必ずUSBケーブルのプラグを持って抜く）
- USBケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは、USBケーブルのプラグをコネクターから抜く

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

USBケーブル接続コネクター部への接続

コネクター部には、付属品以外のものを接続しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

使用場所について

病院内や航空機内など、携帯電話の使用が禁止されている場所では使用しないでください。医療用電子機器など周辺の機器に影響をおよぼす恐れがあります。

大切なデータは控えをとる

本機やmicroSDメモリーカードにパソコンから転送した内容は、パソコン側のデータも消去せずバックアップとして保管してください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

磁気カードに近づけない

磁気カード（クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管したりしないでください。

本機は磁気を帯びた部品を使用しているため、磁気カードが使用できなくなることがあります。

⚠ 注意

ヘッドホン端子への接続

ヘッドホン端子には付属品以外は接続しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

ヘッドホンについて

ヘッドホンを差し込んだまま、本機をぶらさげたりしないでください。
落下によるけがの原因となることがあります。

音量について

ヘッドホンを使うときは音量に注意してください。
大音量で聞くと難聴の原因となることがあります。

付属CD-ROMについて

⚠ 警告

CD-ROMディスク対応機種以外では絶対に再生しないでください。音量によって、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

その他の使用上のご注意

●本機は精密な電子部品で構成されています。データが正常に保持できなくなったり、故障の原因になりますので、以下のことに注意してください。

・落としたり、「強い衝撃」、「曲げ」、「ひねり」などを加えないでください。また、ズボンのポケットに入れたり、硬いものと一緒にカバンに入れないようにご注意ください。

・ボールペンなど尖ったものでキー操作しないでください。

・液晶画面（メインパネル）や手書きパネルに強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたり入力したりしないでください。液晶画面や手書きパネルの一部はガラスでできていますので、傷ついたり、割れることがあります。

・分解しないでください。分解により故障した場合は、保証期間内でも有料修理となります。

・静電気が発生しやすい場所では使わないでください。

●極端な温度条件下での使用や保管は避けてください。

低温では表示の応答速度が遅くなったり、点灯しなくなったりします。また、直射日光の当たる場所や窓際または暖房器具の近くなど、極端に温度が高くなる場所には置かないでください。ケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。

●湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。

水が直接かかるような使用は避けるとともに、湿気やほこりにも十分ご注意ください。電子回路の故障の原因になります。

●お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。

特に汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した布を固くしぼっておふきください。なお、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。キーの上の文字が消えたり、ケースにシミをつけてしまう恐れがあります。

付属CD-ROMに関するご注意

取扱上の注意

- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって、放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を描いたり、シールなどを貼らないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。

保管上の注意

- 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
- ディスクは使用後、お買い上げのときにディスクが入っていた袋または市販のCDケースに入れて保管してください。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 本書および本機の使用、故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

登録商標・商標の表記について

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
なお、本書中には、以下の用語の™マーク、®マークを明記していません。

- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 『オキシライド乾電池』は、松下電器産業株式会社の商標または登録商標です。
- microSDは、SD Card Associationの商標です。
- microSDロゴは商標です。
- Pentiumは米国インテル社の登録商標です。
- 本機に収録している辞典などのデータ中に掲載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

安全上のご注意

安全上のご注意 …… 表紙の裏

本機をご使用になる前に

付属品を確認しましょう …… 12
初回の電池セットとセット後の操作 …… 14
電源を入れる・切る …… 18
バックライトについて …… 19
パソコンに接続する前のご注意 …… 20
この説明書の使いかた …… 21

はじめに

本機の特長 …… 22
各部のなまえとはたらき …… 26
　タッチペンを取り出す・しまう …… 28
　おもなキーのなまえとはたらき …… 29
　画面の見かた …… 31

基本的な操作を覚えよう

辞典検索の流れ …… 33
　メニューから辞典を選ぶ …… 36
　各辞典の「最初の画面」について …… 40
　検索のしかたの基本4パターン …… 41
キーボードからの文字入力 …… 51
　ひらがなの入力 …… 51
　アルファベットの入力 …… 54
　数字の入力 …… 55
　文字を直す …… 55
手書きパネルからの文字入力 …… 57
　手書きパネルから文字を入力する …… 58

次ページに続く

手書き入力のふたつの方法 …… 59
一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力 …… 59
何文字かまとめて入力する …… 61
日本語系の字以外の入力例 …… 62
間違って認識された文字の訂正 …… 65
手書きパネルからメモを書く …… 66
国語辞典・英和辞典の検索 …… 67
国語辞典の検索 …… 67
英和辞典の検索 …… 73
検索結果画面での基本操作 …… 80
説明の続きを見る …… 80
前後の見出し語に切り替える …… 82
別の辞典に切り替える …… 82

上手に使おう

戻る/リストを押せば、ひとつ前の画面へ …… 83
よく使う辞典は辞典／モードキーで一発表示 …… 84
ことばからことばへ、辞典から辞典へ …… 86
発音も確かめられる音声機能 …… 93
解説や図などを見る …… 101
成句や複合語を見る …… 103
熟語を見る …… 104
用例を見る …… 105
文字の大きさを変える／ズームする／レイアウトを変える …… 106
その他の便利な機能 …… 112
キーワードを指定した検索 …… 112
複数辞典の一括検索 …… 114
お気に入り機能 …… 119
例文や成句の絞り込み検索 …… 122
暗記カードを使う …… 124
見出しメモを使う …… 135
単語帳を使う …… 139
少し前に調べたことばをもう一度調べる（ヒストリーサーチ） … 144
辞典の凡例を見る（ガイド機能） …… 147
手書きのメモを使う（フリーメモ） …… 148

電卓を使う …… 151
ライブラリーを活用する（パソコンや別売品を使って）…… 154
付属のCD-ROMを使う …… 161
[電子辞書版]今日の治療薬2007を電子辞書からパソコンに戻す … 173
[電子辞書版]今日の治療薬2007をパソコンから電子辞書に送る … 175

学習用コンテンツ／脳鍛アプリを使おう

本機に収録されている学習用コンテンツ／脳鍛アプリ …… 178
学習用コンテンツ：電子辞書でどこでも英会話 …… 180
頭を鍛える：脳鍛アプリ 数字パズル …… 188

全辞典の紹介

収録辞典の使いかた …… 195

お役立ち情報

こんなときには …… 222
こんな症状がおこったら …… 236
リセットするときは …… 239
電池を交換する …… 241
付録 …… 246
設定の変更 …… 261
仕様 …… 265
さくいん …… 268
保証・アフターサービスについて …… 278
お客様ご相談窓口 …… 280

付属品を確認しましょう

ご使用になる前に、以下の付属品がそろっているか確認してください。

- ●アルカリ単4形乾電池　2本
- ●USBケーブル
- ●専用ヘッドホン
- ●医学大辞典 付表・図
- ●タッチペン（本体に収納されています➔ **28**ページ）
- ●エクスワードデータプラス4対応ソフト「[電子辞書版] 今日の治療薬2007」
  （XD-GP5900MED/XD-SP5500MED/XD-SP5700MED）
  - ・CD-ROM
  - ・シリアルナンバーシール　2枚
    （台紙1枚・CD-ROM袋に1枚）

※「[電子辞書版] 今日の治療薬2007」は、工場出荷時に本製品のメモリーエリア（本体保存辞書）に収録しています。他の別売ソフトと入れ替えるときは、付属のCD-ROMを使ってパソコンに戻してください。➔ **161**ページ

※お買い上げになられた商品（特別梱包商品など）によっては、付属品が異なる場合があります。

■「CD-ROM ソフト」のシリアルナンバーシールについて

本製品には、「今日の治療薬 2007」のシリアルナンバーが印刷されているシールが同梱されています。

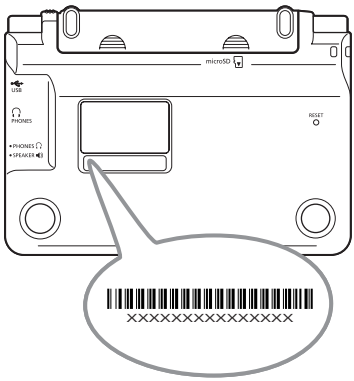
同梱のシールは、右欄に貼ってください。

- CD-ROMが入っている袋にもシリアルナンバーシールが貼ってあります。袋は捨てずに大切に保管してください。

シリアルナンバーシールを貼ってください

製品シリアルナンバーについて

本製品の裏面に記載されている製品シリアルナンバー(数字とアルファベットの組み合わせ15桁）は、オンラインサービス登録に使用するものです。製品の紛失盗難時に“製品の特定”を保証するものではありません。



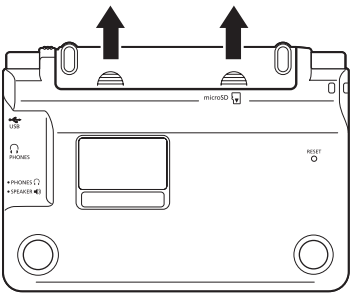
●オンラインサービスにつきましては、以下のサイトをご覧ください。
http://casio.jp/exword/register/
・別途メールアドレスが必要です。
・シリアルナンバー入力時には、数字とアルファベットを間違えないようご注意ください。
「0」（ゼロ）と「O」（オー）、「Q」（キュー）
「1」（イチ）と「I」（アイ）

初回の電池セットとセット後の操作

本機を使用する前に、同梱のアルカリ単4形乾電池2本を入れてください。

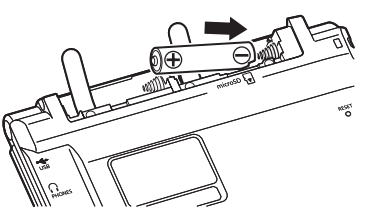
1 電池ブタを取り外す

2 ヵ所の ⏏ 部分を押しながら矢印の方向へスライドさせます。

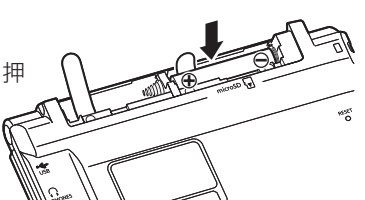


2 乾電池2本を入れ、電池ブタを取り付ける

①電池の（－）極側をバネに押しつけながら



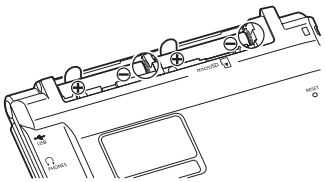
②取り出し用リボンの上に電池が載るようにして、（＋）極側をケースに押し込みます。



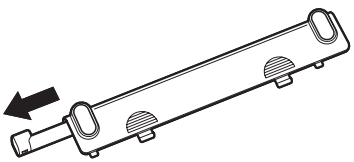
• 電池の極性（＋－）を間違えないように正しく入れてください。

正しくセットされた状態

バネがはみ出したり、電池の下にもぐり込まず、まっすぐに縮められている状態。



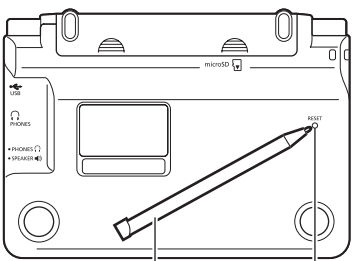
③タッチペンを電池ブタから取り出した後、本体に電池ブタを取り付けます。



3 本体裏面にあるリセットボタンを押す

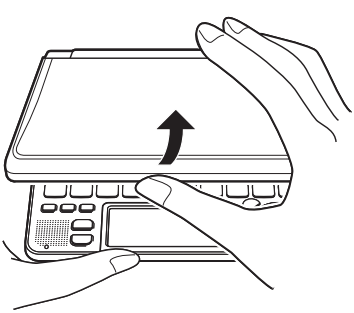
付属のタッチペンで押します。

※ つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。



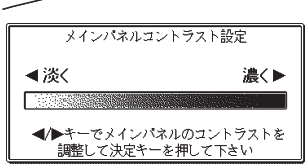
タッチペン　リセットボタン

4 中央部分に指をかけて、本機を開ける



メインパネルコントラスト設定画面が表示されます。

必要に応じて、◀または▶を押して画面の明るさを調整します。

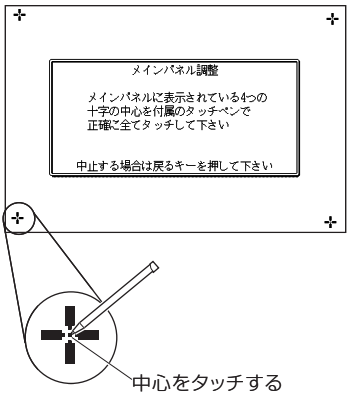


次ページに続く

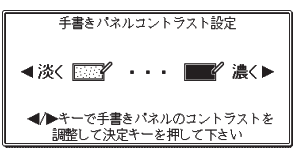
5 訳／決定を押す

6 「メインパネル調整」の画面が表示されたら、メインパネルの4つの十字マークの中心をひとつひとつ付属のタッチペンでタッチする

手書きパネルコントラスト設定画面が表示されます。

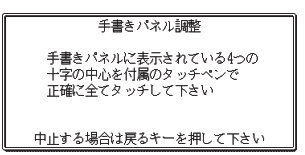


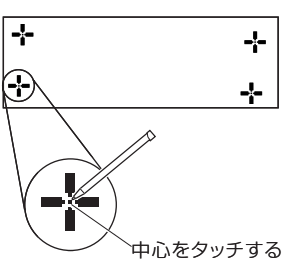
必要に応じて、◀または▶を押して、手書きパネルの明るさを調整します。



7 訳／決定を押す

8 「手書きパネル調整」の画面が表示されたら、手書きパネルの4つの十字マークの中心をひとつひとつ付属のタッチペンでタッチする

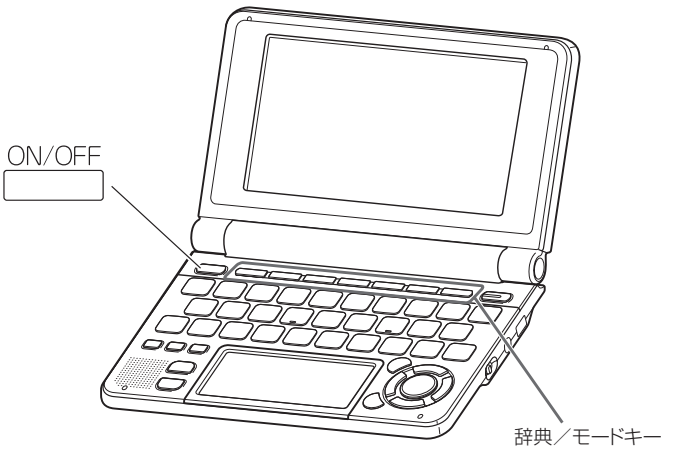




メニュー画面が表示されます。
メニュー画面が表示されたら、タッチペンは元の収納部（電池ブタ）に戻します（タッチペン➔ **28**ページ）。

- 付属の電池は、自己放電によりいくらか消耗している場合があります。「仕様」に記載されている使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。ご了承ください。
- ご使用方法やmicroSDメモリーカードの組み合わせによっては、電池寿命が著しく短くなることがあります。
- オキシライド乾電池などニッケル系一次電池を本機に使用しないでください。電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 辞典をひく操作の前に、必ず**51**ページをお読みの上、かな文字の入れかたをご確認ください。工場出荷時には「ローマ字かな入力」方式に設定されています。

電源を入れる・切る



本機は、**開け閉めすることで電源の入・切**ができるようになっています。

■電源を入れる

本機を開けると、自動的に電源が入ります。

- 前回電源を切ったとき（あるいは自動的に切れたとき）と同じ画面が表示されます。
- 電池の無駄な消耗をさけるため、電源が入った状態で数分間何も操作をしないと、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ➔ **261**ページ）。
- 電源が切れているときに ON/OFF を押すと電源が入ります。

電源を入れるとともに、希望の辞典を表示するには

電源が切れているときに、辞典／モードキー（➔ **84**ページ）のいずれかを押すと、電源が入るとともに押したキーに対応する辞典の最初の画面が表示されます。

■電源を切る

本機を閉じると、自動的に電源が切れます。

- 電源が入っているときに ON/OFF を押すと電源が切れます。

バックライトについて

薄暗い所で画面を見やすくするには、バックライトを点灯させます。
電池の消耗を少なくするために、必要がなければバックライトは消してください。

■バックライトを点灯させるには

バックライトの点灯時間には、「約30秒」と「約3分」の2種類があります。

・約30秒間バックライトを点灯させるときは：バックライトを押します。
・約3分間バックライトを点灯させるときは：シフトを押し、離してからバックライトを押します。

何もキー操作をしないと、約30秒後または約3分後に自動的に消えます。
（何かのキーを離さず押している場合でも、同様に自動的に消えます。）

■バックライトを消すには

もう一度バックライトを押します。

■電池寿命について

- バックライトや音声機能を頻繁に使うと、電池寿命が短くなります。
- 以下の電池寿命は、おおよその目安です（新品のアルカリ電池を使用し、使用温度25℃の場合）。

使用条件	電池寿命	
	XD-GP5900MED	XD-SP5500MED/ SP5700MED
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト点灯なし	約70時間	約75時間
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト3分点灯	約60時間	約60時間
1時間中4分入力・検索、55分表示、スピーカーで1分音声出力、バックライト連続点灯	約20時間	約20時間
スピーカー、またはヘッドホンで音声出力を繰り返したとき、バックライト点灯なし	約10時間	約10時間

パソコンに接続する前のご注意

本機とパソコンを接続する前に、用途に応じて必ず以下のソフトをパソコンにインストールしてください。

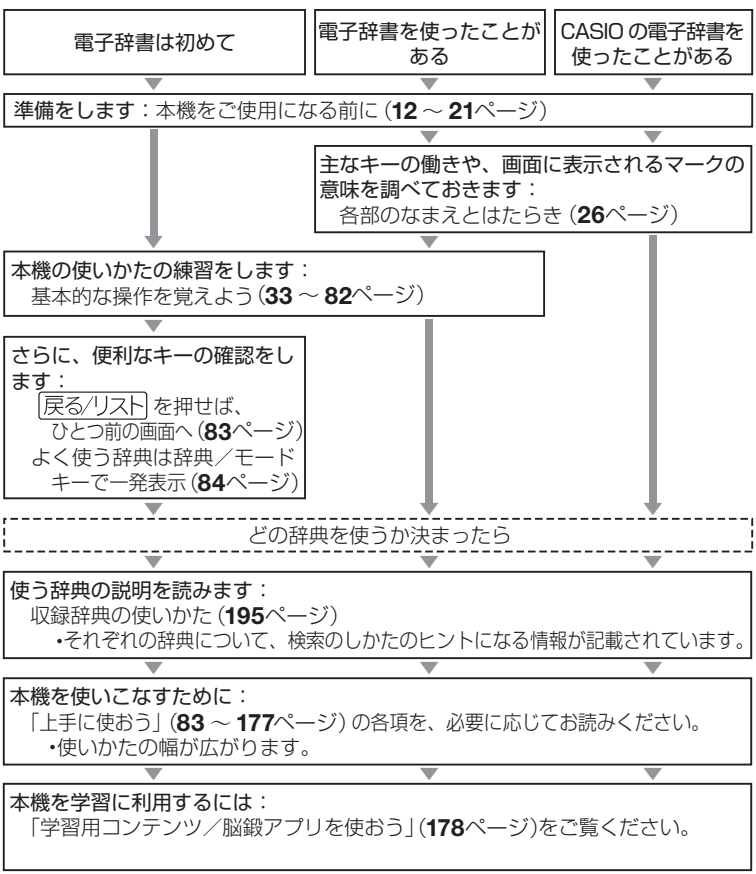
用　途	使用ソフト
エクスワードデータプラス、エクスワードデータプラス2、エクスワードデータプラス3、エクスワードデータプラス4対応ソフト（別売CD-ROM）をご利用の場合	「EX-wordライブラリー」 •ご利用のソフトのCD-ROM内にあります。 •インストール方法はCD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
パソコンのテキストデータを本機で見る場合	「EX-wordテキストローダー」 •「ライブラリーを活用する（パソコンや別売品を使って）」（➔ **154**ページ）をご覧ください。
音声CDを本機で聞く場合	「EX-word音声CDローダー」 •「ライブラリーを活用する（パソコンや別売品を使って）」（➔ **154**ページ）をご覧ください。

- インストール前に本機とパソコンを接続すると、誤動作の原因になります。
- ソフトをインストールすると、データ転送に必要な専用USBドライバーが自動的にインストールされます。
- 本製品とパソコンの接続には、付属のUSBケーブルをご使用ください。

この説明書の使いかた

この説明書は、電子辞書ははじめてという方から、すでにCASIOの別の電子辞書を使ったことがある方まで、すべての方に本機を使いこなしていただけるように作られています。以下の図を参考にしてください。

- 本書の用語は「さくいん」（➔ **268**ページ）で説明のあるページを調べることができます。



本機の特長

■ すぐれた検索方法あれこれ

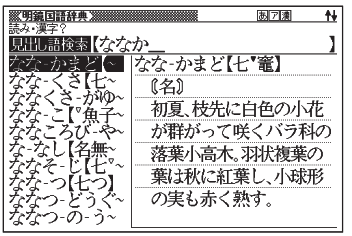
◆すぐ出るサーチ

調べたいことばの先頭の文字を入力すると、あてはまる候補を表示します。

➔ **41**ページ

例

国語辞典で「ななかまど」を調べようとして、「ななか」まで入力したところで候補の中に「ななかまど」が現れています。



◆ジャンプ（ことばからことばへ・辞典から辞典へ）

意味や解説の画面の中で使われていることばを、同じ辞典や別の辞典にジャンプして調べることができます。➔ **86**、**87**、**88**ページ

◆さらに検索

●スペル／原形候補検索

見出し語を検索するとき、スペルがうろ覚えでも、入力したスペルに近い単語を探すことができます。また、単語の変化形から原形の候補を探すこともできます。

➔ **76**ページ

●画面分割検索

意味や解説などの画面を上下に分割して、ふたつの辞典を同時に表示できます。

➔ **90**ページ

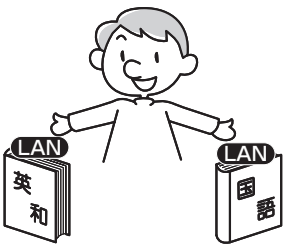
●絞り込み／語順指定検索

例文・成句検索候補をさらに絞り込んだり、単語の語順を指定して調べることができます。➔ **122**ページ

◆複数辞書検索

調べたいことばを、いくつかの辞典をまとめて対象にして、検索できます。

➔ **114**ページ



例

「LAN」ということばを、このことばが載っている辞典すべて（英和辞典、国語辞典など）から簡単な操作で引き出すことができます。

■ タッチペンを使って

キーボードの代わりに、手書きパネルと付属のタッチペンを使って、手書きで検索語を入力することもできます。➔ **57**ページ
メインパネルをタッチして、カテゴリーや辞典を選んだり、単語や項目を選んで操作を進めることができます。➔ **34**ページ

■ 各辞典／モード共通の便利な機能

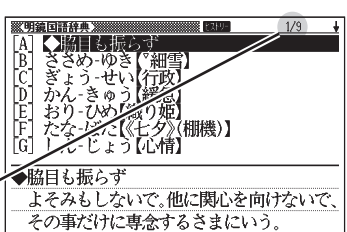
◆バックライト機能

薄暗い所でも使用できます。➔ **19**ページ

◆リスト件数表示

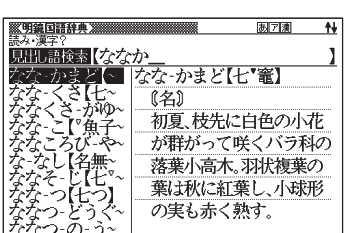
例文検索結果やヒストリーなどのリスト表示中に、候補の総数とその中での順番を示します。➔ **31**ページ

候補数9個のうち、反転している候補が1番目であることを表しています。



◆プレビュー表示

候補の一覧を表示しているときでも、反転している見出し語の意味の一部を、画面の右に表示します。➔ **31**ページ



次ページに続く

◆音声機能

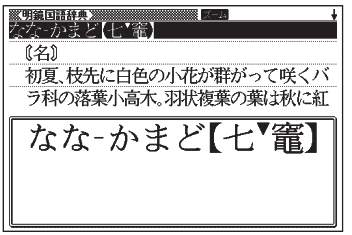
単語/熟語/例文などの発音（ネイティブ音声･合成音声）を聞くことができます。
➔ **93**ページ

◆文字サイズ変更

画面に表示する文字の大きさを切り替えることができます。➔ **106**ページ
（本書に掲載の画面例は、とくに断りのない限り24ドット表示のものです。）

◆ズーム機能

画面の文字を拡大表示することができます。画数の多い漢字の一画一画を確認するときなどに便利です。➔ **108**ページ



◆レイアウト変更

一覧（リスト）や意味表示中の画面のレイアウトを変えることができます。
➔ **109**ページ

◆お気に入り機能

よく使う辞典などをお気に入りに登録することができます。登録は、手書きパネルを使って簡単にできます。➔ **119**ページ

◆学習帳

●暗記カード

手書きの暗記カードを作成することができます。見て覚える使いかたや、手書きパネルを使った書き取りができます。➔ **124**ページ

●見出しメモ

見出し語の意味や解説の画面に、手書きの見出しメモを付けることができます。➔ **135**ページ

●単語帳

調べた単語や例文、成句の中から、「覚えておきたい重要なもの」を単語帳に登録できます。また、覚えた単語や例文にチェックマークを付けることもできます。➔ **139**ページ

◆ヒストリーサーチ機能

少し前に調べたことばを再度調べたいとき、検索の履歴（ヒストリー）から直接辞典を引くことができます。➔ **144**ページ

◆ガイド機能

各辞典の凡例（編集方針、利用のしかたなど）や収録内容の説明などを見ることができます。➔ **147**ページ

◆フリーメモ

お好きな内容の手書きメモを、30件まで登録することができます。呼び出して内容を見たり、修正・削除も簡単にできます。➔ **148**ページ

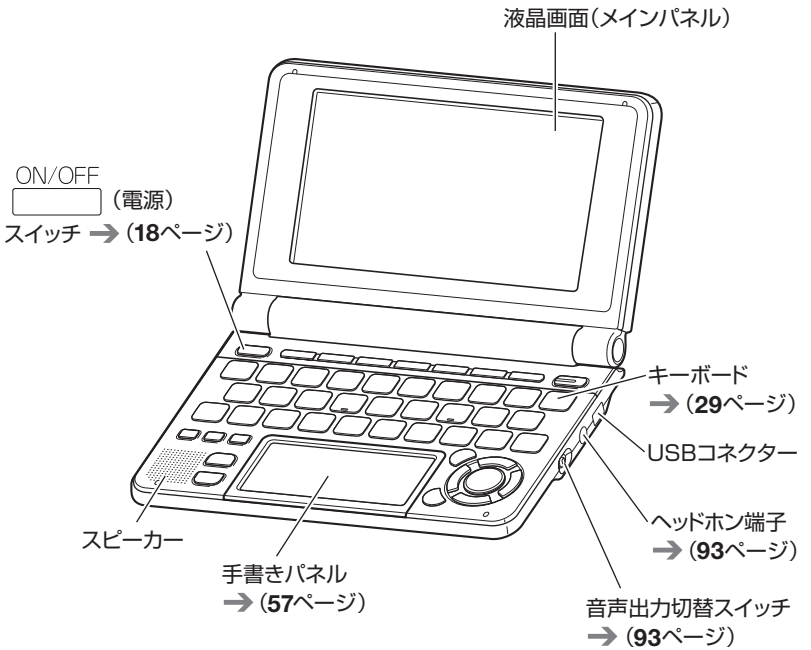
◆ライブラリー

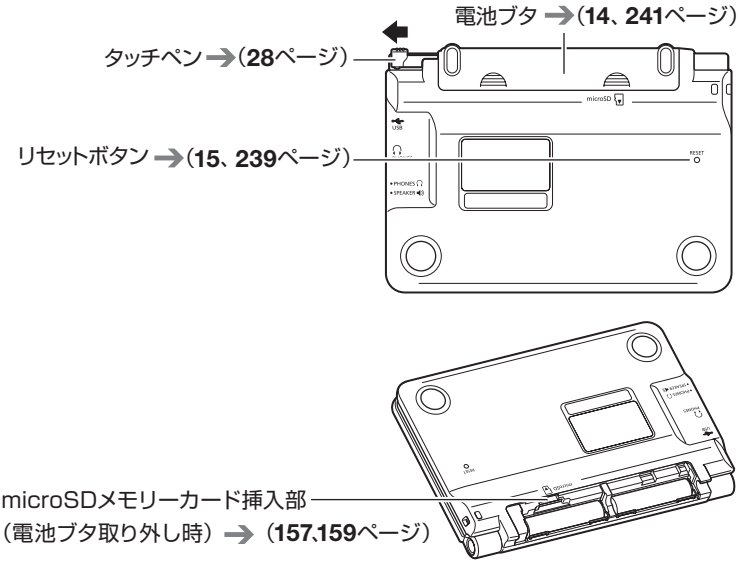
いろいろな辞典やテキストファイルを、パソコンを使って本機に読み込むことができます。また、CDに入っている音声を、パソコンを使って本機に読み込み聞くことができます。➔ **154**ページ

「本機の画面に表示される字体」について

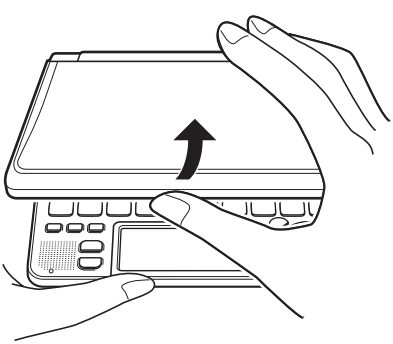
- 本機の画面に表示される字体はＪＩＳ Ｘ 0213：2004の漢字集合に準拠したフォントを使用しています。
  2004年改正で変更のあった字形に対応しています。
  例 「逢」→「逢」、「辻」→「辻」、「飴」→「飴」、「祇」→「祇」、「葛」→「葛」、「撰」→「撰」など
- 本機の画面に表示される表･図は画面上での一覧性を重視して収録しており、一部に簡略化されたフォントを使用しています。また、表・図以外でも本機の表示ドット構成の都合により、簡略化された字体が表示されることがあります。

各部のなまえとはたらき





■ 本機の開けかた



中央部分に指をかけて、開けます。

タッチペンを取り出す・しまう・・・・・・・・・・・・・・

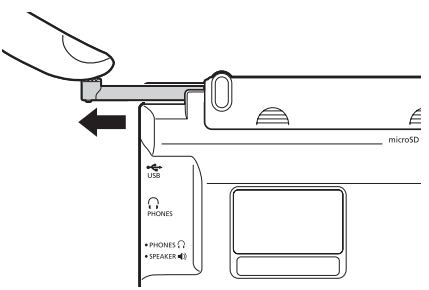
本機では、タッチペンを使って「手書きパネル」に文字を書いたり、画面にタッチして操作を進めることができます。

•タッチペンを使った操作の進め方について ➔ **34**、**57**ページ

タッチペンの取り出し方としまい方は以下の通りです。

■ タッチペンを取り出す

タッチペンは本体裏面の左上に収納されています。
下記のイラストのように、タッチペンの先端に指をかけ、引き出します。

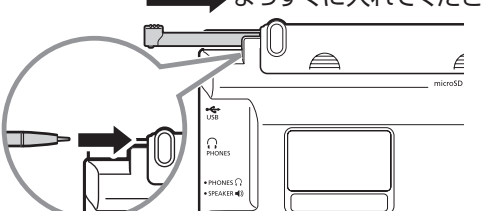


まっすぐに引き出してください。

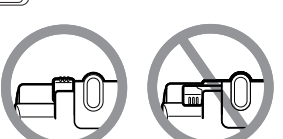
■ タッチペンをしまう

下記のイラストのように、タッチペンの先端を右へ押し込むようにしてしまいます。

まっすぐに入れてください。



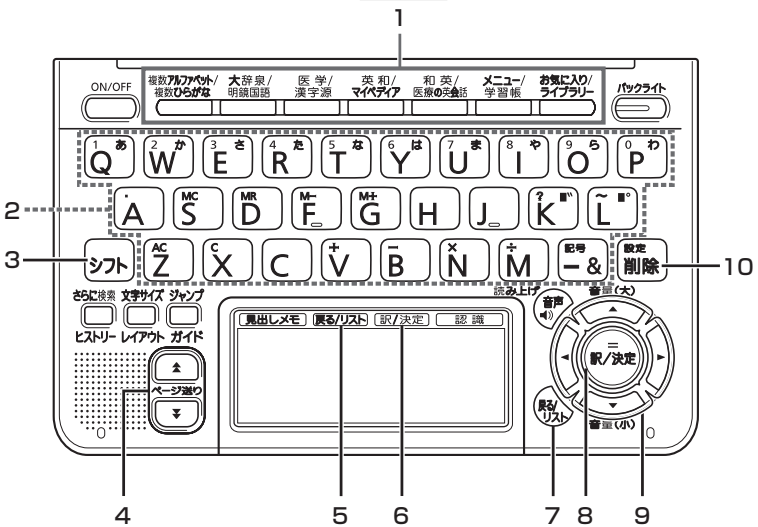
- 落ちないように、しっかりと奥まで入れてください。
- なくさないように注意してください。



おもなキーのなまえとはたらき

ここでは、普段の操作によく使うキー（およびアイコン）を説明します。

- すべてのキー（およびアイコン）についての説明 ➔ **246**ページ
- 【戻る/リスト】アイコンのタッチと 戻る/リスト キー押しは、同じはたらきをします。また【訳/決定】アイコンと 訳／決定 キーのはたらきも同じです。



1 辞典／モードキー

それぞれのキーに登録されている辞典の最初の画面を表示します。
それぞれのキーには、ふたつの辞典などが登録されています。キーを押すごとに、ふたつの辞典などが切り替わります。
➔ **84**ページ

2 文字キー

文字や数字を入力するときに使います。➔ **51** ～ **56**ページ

3 シフトキー

- 「?」や「～」を入力するときに使います。➔ **68**、**74**ページ
- 辞典／モードキーに登録されているふたつめの辞典やモードを使うときに、まずこのキーを押してから辞典／モードキーを押す、という使いかたもできます。➔ **85**ページ

次ページに続く

4 ▲ ▼（ページ送り）キー

- 画面の表示に続きがあるときに押すと、いま見えていない部分が表示されます。➔ **80**ページ
- いま調べていることばのひとつ前またはひとつ後のことばの意味を見たいとき、シフトを押し、離してから▲または▼を押します。➔ **82**ページ

5 【戻る／リスト】アイコン

ひとつ前の画面に戻るときにタッチします。➔ **83**ページ

6 【訳／決定】アイコン

調べたいことばを入力したり、項目を選んだら、このアイコンをタッチして先に進みます。➔ **35**ページなど

7 戻る/リストキー

ひとつ前の画面に戻るときに押します。➔ **83**ページ

8 訳／決定キー

調べたいことばを入力したり、項目を選んだら、このキーを押して先に進みます。➔ **38**、**43**ページなど

9 ▲▼◀▶キー

- 白黒反転表示を前後左右に動かして希望の項目を選ぶときに▲▼◀▶を押します。➔ **38**ページ
- カーソル（文字の下の横線）を左右に動かすときに◀▶を押します。➔ **55**ページ

10 設定 削除キー

- 間違って入力した文字を訂正するときに使います。➔ **55**ページ
- 本機のいろいろな設定を変更したいとき、シフトを押し、離してからこのキーを押します。➔ **262**ページ

※本書のキー（およびアイコン）は簡略化して記載しております。あらかじめ、ご了承ください。

画面の見かた

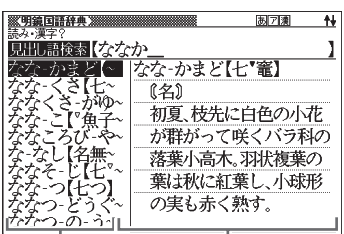
■ ガイダンス

画面右下または画面下部にガイダンスが表示されます。
ガイダンスに従って操作してください。

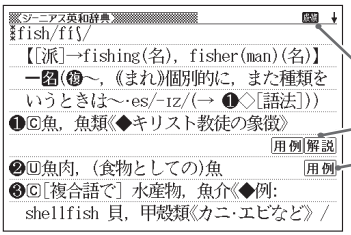
ガイダンス

ガイダンス

■ リスト（一覧）とプレビュー


明鏡国語辞典
読み・漢字?
見出し語検索【ななか
ななかまど
ななくさがゆ
ななこ【魚子】
ななころび・や
ななし【名無】
ななそじ【七十】
ななつ【七つ】
ななつどうぐ
ななつのうた
ななつ【七】
ななつ【七】
ななつ【七】

■ 意味や解説の画面で表示される記号



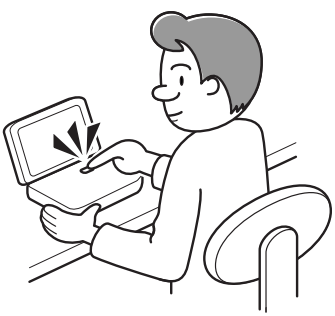
記　号	意　味
解説	そのことばの解説（図など）が収録されていることを示します。➔ **101**ページ
熟語	「漢字源」に、調べている漢字を含む熟語が収録されていることを示します。➔ **104**ページ
成複 成句	調べている単語を使った成句や複合語が収録されていることを示します。➔ **103**ページ 成句はモデルによっては、別売ソフトの使用時に表示されます。
用例	英語系の辞典などで、調べている単語を使った用例が収録されていることを示します。➔ **105**ページ
◀))	このマークの右または下の内容が、ネイティブの発音による音声で聞けることを示します。➔ **95**ページ
ﾄｩﾙｰﾎﾞｲｽ	この表示が出た場合、ネイティブによる発音で音声を聞くことができます。➔ **95**ページ
読み上げ	この表示が出た場合、合成音声による発音を聞くことができます。➔ **98**ページ
音声ｻｰﾁ	画面の中に英単語があって、発音を聞く操作をすると表示されます。➔ **96**ページ
英 語など、言語を示す記号	どの言語の発音のルールにしたがって発音されるかを示します。➔ **98**ページ
⇨ ⇨	同じ辞典の中に、そのことばを含む別のことばや、関連項目などが収録されていることを示します。➔ **87**ページ
ｼﾞｬﾝﾌﾟ	ジャンプ機能を使うと表示されます。➔ **87**、**88**ページ
ﾋｽﾄﾘｰ	ヒストリーサーチ機能を使うと表示されます。➔ **144**ページ
ズーム	画面をズームすると表示されます。➔ **108**ページ
ガイド	ガイド機能を使うと表示されます。 （➔ **147**ページ）
全表示 語 順 連 続	絞り込み／語順指定検索の使用時、表示のしかたを示します。 （➔ **122**ページ）

辞典検索の流れ

使いたい辞典を選んでから、ことばを検索して意味や説明を画面に表示させるまでの一連の操作について説明します。

■ どちらも使える！　キーボードとタッチペン

本機では、項目や機能の選択や文字入力などの基本的な操作を、キー操作とタッチペン操作のどちらでも行うことができます。



キーを押して・・・

タッチペンでタッチして・・・

どちらを使っても操作できる機能は、主にキー操作を例に説明しています。

- タッチペンでの基本操作については、「タッチペンでの基本操作」（➔ **34** ページ）をご覧ください。
- 一部の機能は、キー操作のみで使えます。（電源オフ、さらに検索など）
- 一部の機能は、タッチペン操作のみで使えます。（暗記カード作成、ズーム、成句・複合語など）

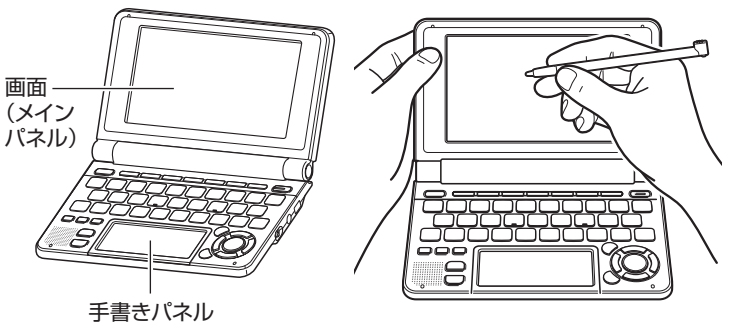
文字入力のしかたについては、それぞれ以下のページをご覧ください。

- キー操作での文字入力 ➔ **51**ページ
- タッチペン操作での文字入力 ➔ **57**ページ
- タッチペン操作での手書きメモ入力 ➔ **66**ページ

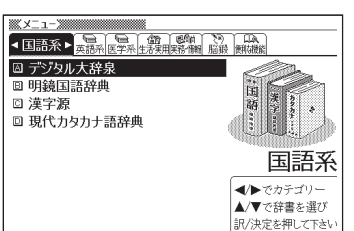
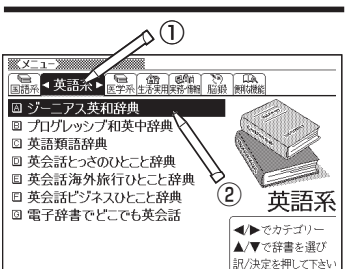
次ページに続く

■タッチペンでの基本操作

- 画面や手書きパネルにタッチするときは、力を入れる必要はありません。
- 画面や手書きパネルの表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。画面や手書きパネルにひびが入ったり、割れたりすることがあります。
- 画面（メインパネル）にタッチするときは、画面の背側に手を添えてください。



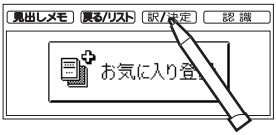
カテゴリーや辞典を選んで最初の画面を表示させるときは

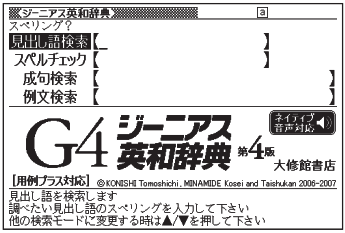
操　作	画　面
メニュー/学習帳を押してメニュー画面を表示させる	
①カテゴリー → ②辞典の順にタッチする タッチした箇所が反転します。	

反転している辞典をタッチする

辞典の最初の画面が表示されます。

- 手書きパネルの【訳/決定】をタッチしても表示することができます。



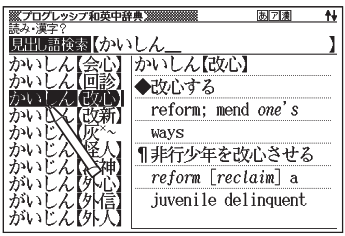


単語や項目などを選んで操作を進めるときは

操　作	画　面

目的の単語や項目をタッチする

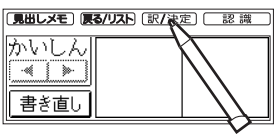
目的の単語や項目が反転します。

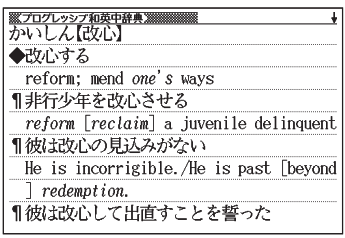


反転している単語や項目をタッチする

単語の意味や解説の画面、または項目の次の画面が表示されます。

- 手書きパネルの【訳/決定】をタッチしても表示することができます。

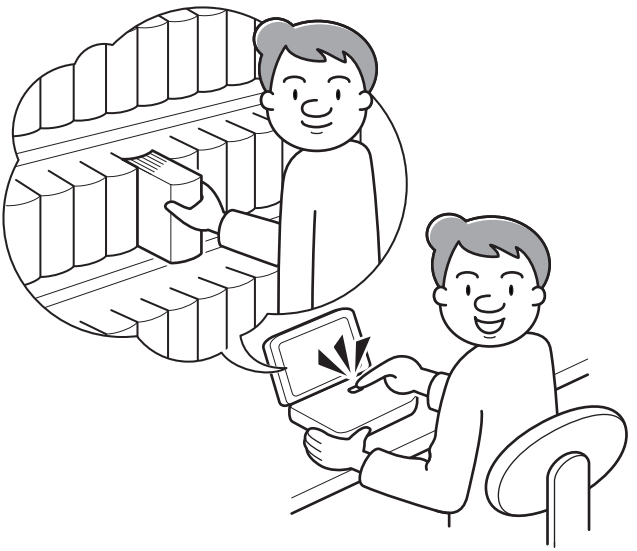




- ここで説明していない操作については、各機能の操作説明をご覧ください。
- 手書きパネルの【戻る/リスト】をタッチすると、一つ前の画面に戻ります（キーボードの戻る/リストと同じ働きをします）。

メニューから辞典を選ぶ

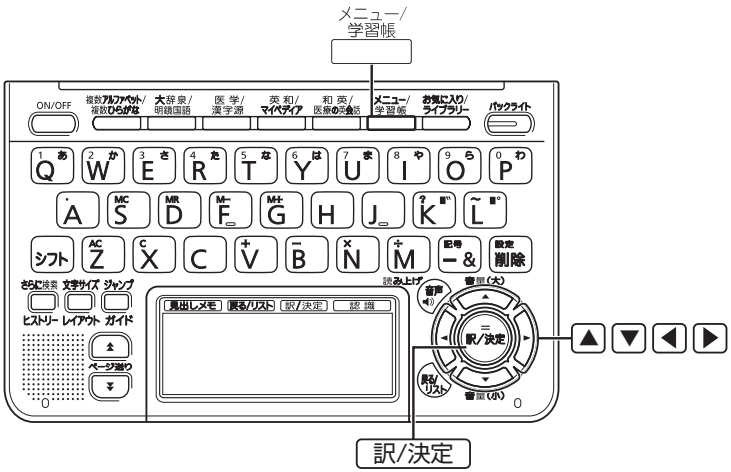
◆まず、辞典を選びます



いろいろな辞典が入っている電子辞書。
これが実際の辞典なら、本棚の前に立って、使いたい辞典を探すところ。
本機には、本棚の代わりに、中身の辞典をいくつかのカテゴリーに分類した「メニュー画面」があります。まずは、「メニュー画面」の使いかたを覚えましょう。

- タッチペンを使った「メニュー画面」の操作については、「タッチペンでの基本操作」（➔ **34**ページ）をご覧ください。

■ 使うキー



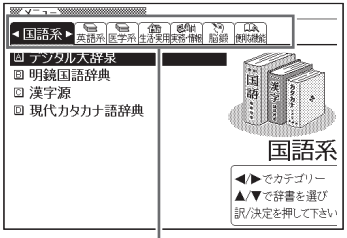
操　作	画　面

本機を開ける

電源が入り、前回電源を切る直前の画面になります。

メニュー/学習帳 **を押す**

メニュー画面

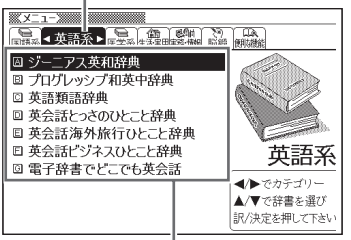


「国語系」「英語系」などのカテゴリー（分類）

次ページに続く

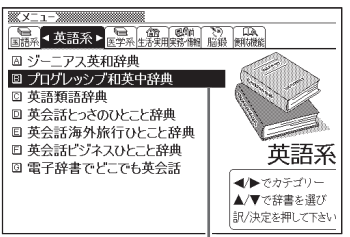
◀ ▶でカテゴリーを選ぶ

「英語系」の辞典を探すとき



「英語系」の辞典一覧

▲ ▼で辞典を選ぶ



「プログレッシブ和英中辞典」を見るとき

訳／決定を押す

「プログレッシブ和英中辞典」の最初の画面

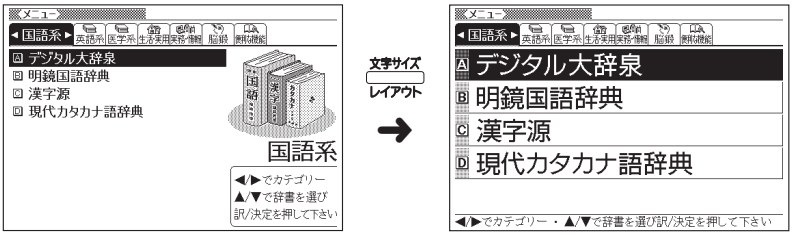
- このまま数分間なにも操作しないと、自動的に電源が切れます。電池の無駄な消耗を防ぐためです。
- 本機を閉じても、電源が切れます。もう一度開けると同じ画面になります。
- メニュー／学習帳を押して、別の辞典を探すことができます。

■ メニューを拡大する

メニューを拡大して、見やすくすることができます。

メニュー画面で、文字サイズ／レイアウトを押します。

例 国語系のメニュー画面で



もう一度文字サイズ／レイアウトを押すと元のメニュー画面に戻ります。

- 辞典の一覧に続きがあるときは、拡大画面右上に↓マークが表示されます。
- ▲ ▼で辞典を選び、訳／決定を押します。
- ⏫ ⏬を押すと、画面単位で上または下に送ることができます。
- 拡大画面で◀ ▶を押すと、拡大されたままカテゴリーが切り替わります。

各辞典の「最初の画面」について・・・・・・・・・・

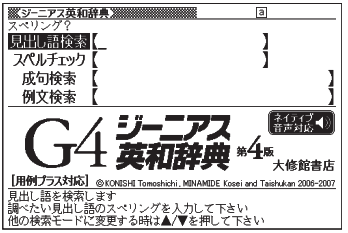
それぞれの辞典の「最初の画面」は、その辞典への入り口。
ここで、実際に調べたいことばを入力したり、目次感覚で希望の見出しを選んだりして辞典の中へと入っていきます（検索します）。

■「最初の画面」あれこれ

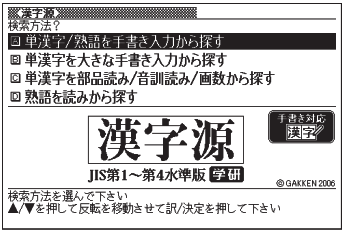
国語辞典の場合

百科事典の場合

英和辞典の場合



漢和辞典の場合



収録辞典のほとんどで、「最初の画面」の使いかた（検索のしかた）は4つのパターンのどれかにあてはまります。
4つのパターンを覚えれば、いつでも簡単に本機を使うことができます。

では、基本の4パターンを代表的な辞典で練習してみましょう。

検索のしかたの基本4パターン

検索のしかたの基本4パターンとは、

パターン1 ▶ 調べたいことばの最初の何文字かを入力 → このページ
パターン2 ▶ 調べたいことばを全部きちんと入力 → **43**ページ
パターン3 ▶ 見出しをたどる → **45**ページ
パターン4 ▶ いろいろな条件を入力する → **47**ページ

です。

- 辞典によっては、これらのパターンにあてはまらない特殊な検索のしかたがあります。それらについては、「**収録辞典の使いかた**」（**195**ページ）で、個別に説明します。
- 一部の辞典では、調べたいことばを入力するのではなく、キーワードを入力して、関連する項目を探し出すことができます。（キーワード検索 → **112**ページ）

パターン1 ▶

■ 調べたいことばの最初の何文字かを入力

調べたいことばの最初の文字を入力するだけで検索結果の画面に切り替わります（すぐ出るサーチ）。

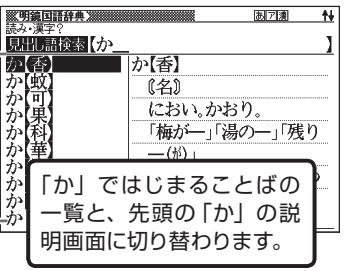
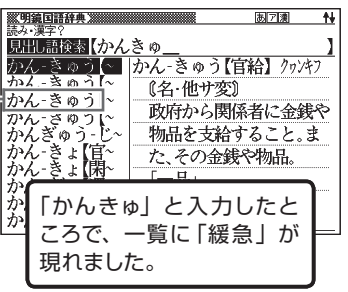
- それぞれの辞典で、日本語の入力が必要なときは「かな入力」に、アルファベットの入力が必要なときは「アルファベット入力」に、自動的に切り替わります。
- 文字の入力方法についてのまとまった説明 → **51**ページ
- 「すぐ出るサーチ」の機能をオフにする → **261**ページ

例 **「緩急」（かんきゅう）ということばの意味を「明鏡国語辞典」で調べるとき**

「明鏡国語辞典」の「最初の画面」から、次のように調べていきます。

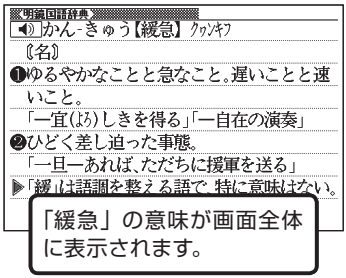
- 「明鏡国語辞典」は、メニューの「国語系」の中にあります。

次ページに続く

操　作	画　面
▲▼で「見出し語検索」を選ぶ	
「か」と入力する K Aと押します。 • かなめくり入力のときはかを1回押します。 （かなめくり入力 ➔ **52**ページ）	
「んきゅ」と入力する N N K Y Uと押します。 • かなめくり入力のときはわを5回、かを2回、そしてやを5回押します。	

ここに、「緩急」がある

▲▼で「緩急」を選び、訳／決定を押す



- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン2▶

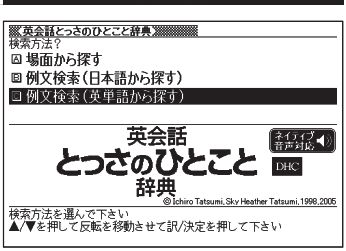
■ 調べたいことばを全部きちんと入力

- それぞれの辞典で、日本語の入力が必要なときは「かな入力」に、アルファベットの入力が必要なときは「アルファベット入力」に、自動的に切り替わります。
- 文字の入力方法についてのまとまった説明 ➔ **51**ページ

例「happy」という語を使った例文を調べるとき

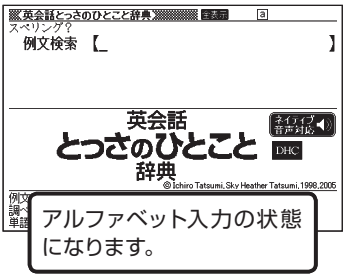
「英会話とっさのひとこと辞典」の「最初の画面」から、次のように調べていきます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

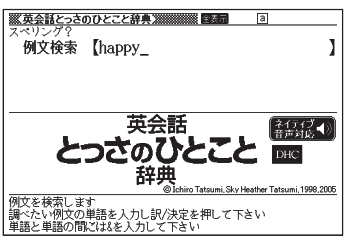
操　作	画　面
▲▼で「例文検索(英単語から探す)」を選ぶ	

次ページに続く

訳／決定を押す



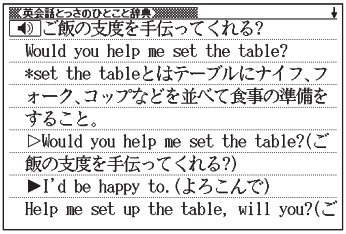
「happy」と入力する
H A P P Yと押します。



訳／決定を押す
あてはまる例文の一覧が表示されます。

「↓」があるときは、いま表示されている例文の先（下）にさらに続きがあります。

▲▼で調べたい例文を選び、訳／決定を押す



- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン3▶

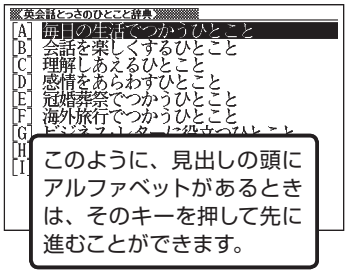
■ 見出しをたどる

辞典によっては、あらかじめ用意されている目次を追っていくだけで目的の情報にたどりつくことができます。

例 英語の発音を調べるとき

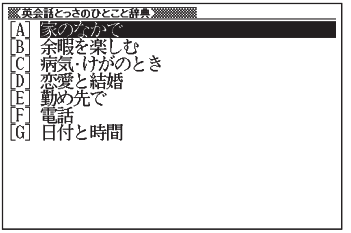
「英会話とっさのひとこと辞典」を使ってみましょう。
「最初の画面」から、次のように調べていきます。

- 「英会話とっさのひとこと辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

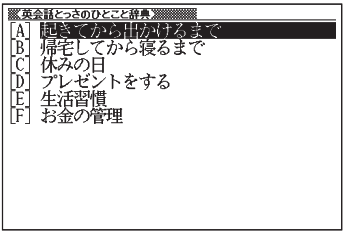
操　作	画　面
▲▼で「A 場面から探す」を選び、訳／決定を押す または、Aを押します。	

次ページに続く

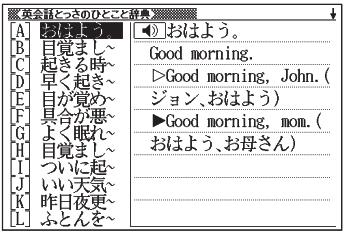
▲▼で「A 毎日の生活でつかうひとこと」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



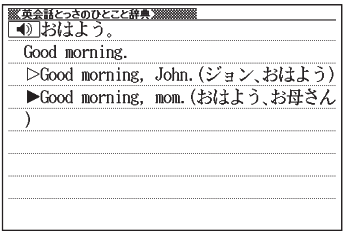
▲▼で「A 家のなかで」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



▲▼で「A 起きてから出かけるまで」を選び、訳／決定を押す
または、Aを押します。



▲▼で調べたいことばを選び、訳／決定を押す
または、調べたいことばの先頭のアルファベットを押します。
(「おはよう。」ならA)



• 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

パターン4 ▶

■ いろいろな条件を入力する

これは、ちょっと特殊な検索方法です。
「漢字源」という漢和辞典で漢字を調べるときなどに使います。
いろいろな条件を入力しますが、たくさん条件を入力するほど、目的の漢字が見つかりやすくなります。

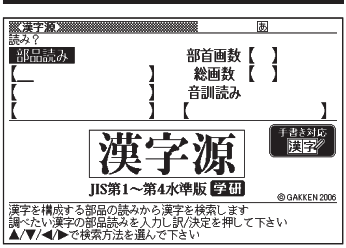
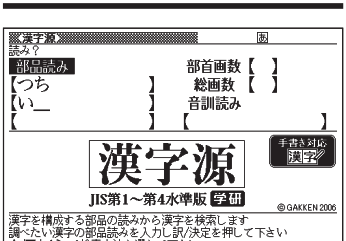
• 文字の入力方法についてのまとまった説明 ➔ **51**ページ

例「戴」について調べたいが、部首がよくわからないとき

部品読み、総画数で調べる

「漢字源」の「最初の画面」から、次のように調べます。

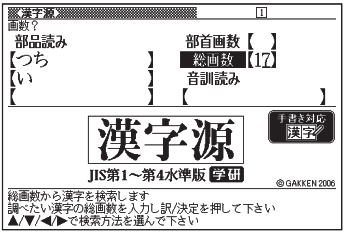
- 「漢字源」は、メニューの「国語系」の中にあります。
- この漢字には、土（つち）という字と異（い）という字が入っています。また、総画数は17です。これらが手がかりです。

操　作	画　面
「C 単漢字を部品読み／音訓読み／画数から探す」を選び、訳／決定を押す または、Cを押します。	
「部品読み」の最初の欄に「つち」、ふたつめの欄に「い」と入力する	

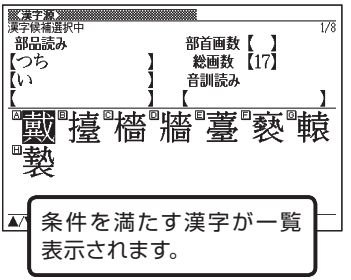
次ページに続く

▲▼◀▶で「総画数」の欄を選び、「17」と入力する

- 数字は、キーボードのいちばん上の列にあります。

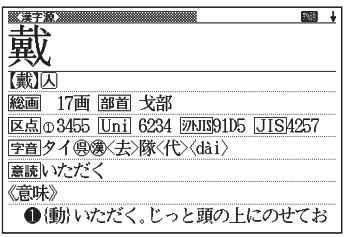


訳／決定を押す



▲▼◀▶で「戴」を選び、訳／決定を押す

または、Aを押します。

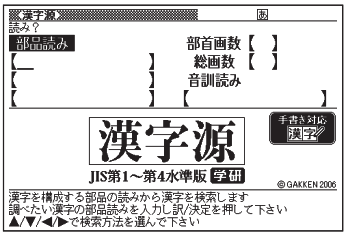
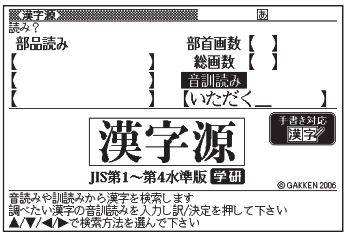
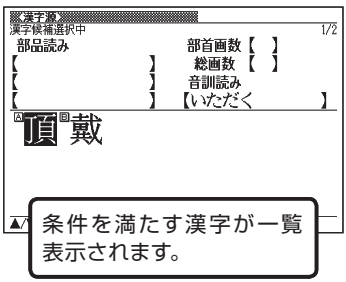


- この例では、ふたつめの部品読みに「い」ではなく「ことなる」と入力すると、総画数を入力しなくても目的の漢字が見つかります。
- 「戴」の部首が「ほこ」、とわかっているときは、部品読みに「ほこ」、つまり正式な部首名を入力してもかまいません。
- 「部首画数」を入力したときは、続いて部首を選びます。▲▼◀▶で部首を反転させ、訳／決定を押してください。
- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

音訓読みで調べる

「漢字源」の「最初の画面」から、次のように調べます。

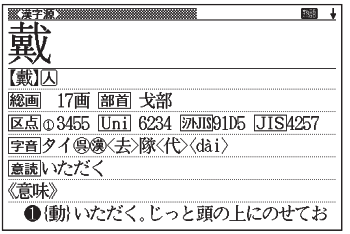
- 「漢字源」は、メニューの「国語系」の中にあります。
- この漢字を音訓読みすると「いただく」になります。これが手がかりです。

操　作	画　面
「C 単漢字を部品読み／音訓読み／画数から探す」を選び、訳／決定を押す または、Cを押します。	
「音訓読み」の欄に「いただく」、と入力する	
訳／決定を押す	

次ページに続く

▲▼◀▶で「戴」を選び、訳／決定を押す

または、Bを押します。



- 戻る/リストを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

キーボードからの文字入力

本機では、調べたいことばなどを入力する場合、辞典や入力項目によって、自動的に「ひらがな入力」（あいうえお・・・）、「アルファベット入力」（abcde・・・）、あるいは数字入力（1、2、3・・・）に切り替わります。ここでは、キーボードを使って文字を入力する方法を説明します。

- キーボードを使った文字の入力は、複数の文字種（ひらがなと数字など）の入力はできません。
- 本機では、手書きパネルを使って手書きで文字を入力することもできます。➔ **57**ページ

ひらがなの入力

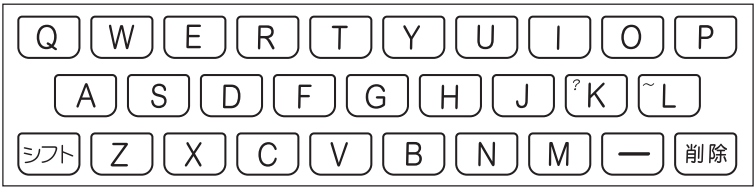
ひらがなの入力には**ローマ字かな入力**と**かなめくり入力**があります。

■ ローマ字かな入力

ローマ字かな入力とは、ひらがなをローマ字のつづりで入力する方法です。

- 本機は、お買い上げいただいたときはローマ字かな入力の状態になっています。

ローマ字かな入力のときに使うキー



- どのキーを押すかを調べるには ➔ 「**ローマ字／かな対応表**」**252**ページ

次ページに続く

例

入力することば	押すキー
いんこ	I N K O
みかん	M I K A N N
さんぽ	S A N N P O または S A M P O
きょう	K Y O U
らっこ	R A K K O または R A X T U K O
えーる	E ー R U
とぅーるーず	T W U ー R U ー Z U

■ かなめくり入力

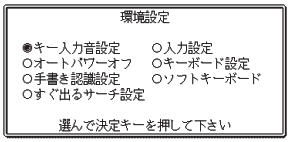
かなめくり入力とは、「く」なら[か]を3回、というように携帯電話と同じ感覚でひらがなを入力する方法です。

かなめくり入力に切り替える

本機は、お買い上げいただいたときはローマ字かな入力の状態です。
かなめくり入力にするには以下のようにして切り替えます。

操　作	画　面
[シフト]を押し、指を離して[設定 削除]を押す	設定項目 ◉音声設定 ○環境設定 ○液晶パネル設定 ○優先設定 ○単語帳設定 選んで決定キーを押して下さい

▲▼で「環境設定」を選び、訳／決定を押す



▲▼◀▶で「キーボード設定」を選ぶ

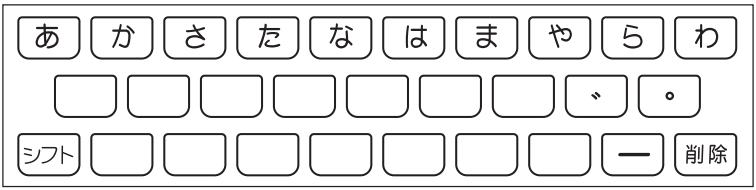
「キーボード設定」の横を●にします。

訳／決定を押す

▼で「かなめくり入力」を選んで訳／決定を押す

- もとのローマ字かな入力に戻すには、上記の手順で「ローマ字かな入力」を選びます。

かなめくり入力のときに使うキー



次ページに続く

例

入力することば	押すキー
ものわかり	[ま][ま][ま][ま][ま][な][な][な][な][な][わ][か][ら][ら]
きょう	[か][か][や][や][や][や][や][や][あ][あ][あ]
ぷろだくしょん	[は][は][は][゜][ら][ら][ら][ら][ら][た][゛][か][か][か] [さ][さ][や][や][や][や][や][や][わ][わ][わ][わ][わ]
らっこ	[ら][た][た][た][た][た][た][か][か][か][か][か]
えーる	[あ][あ][あ][あ][ー][ら][ら][ら]

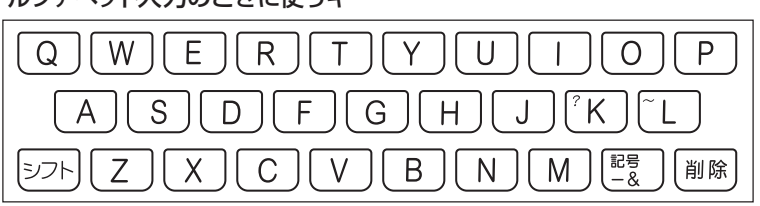
押すキーと押す回数

回数＼キー	[あ]	[か]	[さ]	[た]	[な]	[は]	[ま]	[や]	[ら]	[わ]
1	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
2	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	ゐ
3	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ゑ
4	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	を
5	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	ん
6	ぁ			っ				ょ		ゎ
7	ぃ									
8	ぅ									
9	ぇ									
10	ぉ									

アルファベットの入力

本機では、アルファベットはすべて小文字で入力されますが、検索に支障はありません。

アルファベット入力のときに使うキー



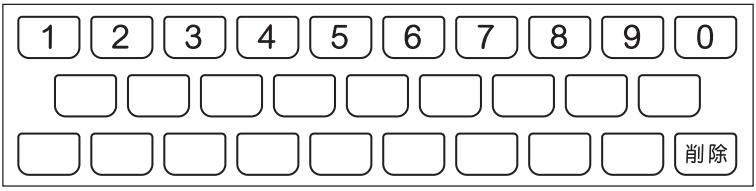
例

入力する文字、ことば	押すキー
internet	I N T E R N E T
?	シフト K （シフトを押し、離してからK）
～	シフト L （シフトを押し、離してからL）

数字の入力

本機では、辞典での検索のときのほか、電卓を使うときも数字入力ができる状態になります。

数字入力のときに使うキー



文字を直す

間違って入力した文字は、次のようにして直します。

最後の文字を消すとき

設定 削除を押します。
押すごとに、最後の文字が消えていきます。

途中の文字を消すとき

◀ ▶でカーソル（_）を直したい文字の下に移動し、設定 削除を押します。

途中の文字を直すとき

本機は、お買い上げいただいたときは文字入力が「挿入」状態になっています。

次ページに続く

「挿入」状態では、文字の修正は以下のようにします。

- 「上書き」状態に変更するには ➔ **261**ページ

例

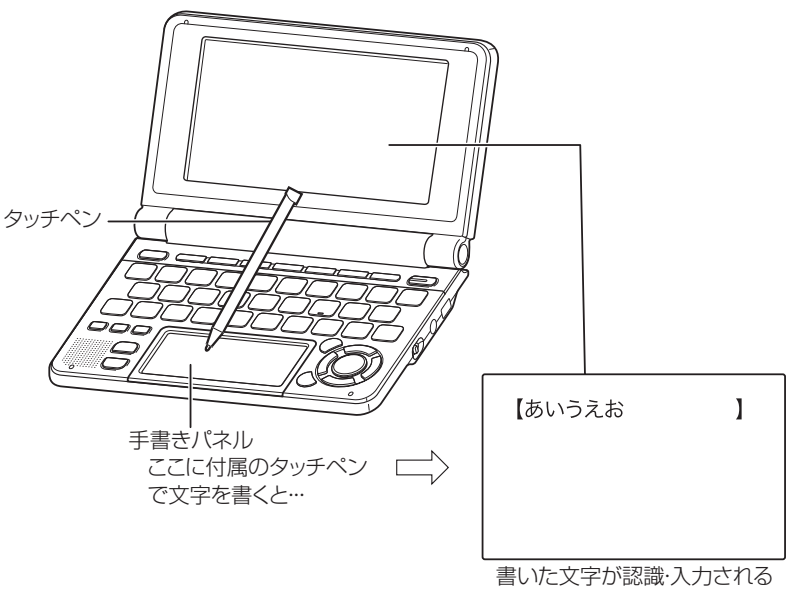
「なあかまど」を「ななかまど」に修正する

操　作	画　面
◀ ▶でカーソル（_）を直したい文字（あ）の下に移動する	なあかまど
設定 削除を押す 「あ」が消えます。	なかまど
「な」を入力する	ななかまど

- 「上書き」のときにこの操作をすると、「か」が「な」に置き換わり、「ななまど」になります。

手書きパネルからの文字入力

本機では、キーボードに加えて手書きパネルを使って文字を入力することができます。
手書きパネルには、付属のタッチペンを使って文字を書き込みます。
•タッチするときは、力を入れる必要はありません。



手書きパネル表面を強く押したり、力を込めて入力したりしないでください。手書きパネルに傷が入ったり、割れたりすることがあります。

手書きパネルから文字を入力する

手書き入力できる文字の種類

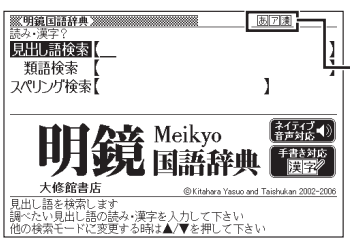
本機では、以下の文字を手書きで入力できます。

- ひらがな、カタカナ
- 漢字（日本語系の辞典用）
- 中国語簡体字（中国語系の辞典用）
- ハングル（韓国語系の辞典用）
- アルファベット（A ～Z、a ～zの52字）
- アクセント符号つきのアルファベット（á、é、í、ó、ú、ç、ñなど）
- 数字（0 ～ 9の10字）

手書き入力の方法を使うと、キーボードからは入力できない漢字やアクセント符号つきのアルファベットなども直接入力できます。

手書き入力ができるときは

画面の上部に、手書き入力できる文字の種類が表示され、手書きパネルに文字を書き入れるマスが表示されます。



表示（下表をご覧ください）

- 入力できる文字種により、手書きパネルのレイアウトは変わります。

表　示	入力できる文字
あ	ひらがな
ア	カタカナ
漢	漢字
汉	中国語簡体字
ㅏㅏ	ハングル
手書きパネル	

表　示	入力できる文字
a	アルファベット
á	アクセント符号つきアルファベット
1	数字
手書きパネル	

- 表示される文字の種類は、最大で3種類です。
- 中国語簡体字、ハングル、アクセント符号つきアルファベットは、それらを使う辞典を収録していない機種では入力できません。ただし、それらを使う別売ソフトを使用するときは入力できます。
- 辞典によっては、最初の画面に表示される検索語入力方法の中に、手書きで入力することが指定されているものがあります。
  例 「漢字源」の「単漢字／熟語を手書き入力から探す」
- 別売のロシア語系辞典ソフトで㊐が表示されたときは、ロシア文字を手書き入力することができます。

手書き入力のふたつの方法

手書き入力は、次のいずれかの方法で進めます。

方法1 ▶ **一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力** ➔ **このページ**
一文字ごとに手書きパネルの【認識】をタッチします。間違って認識されたら訂正します。

方法2 ▶ **正しく認識されたかどうかは気にせず、何文字かまとめて入力** ➔ **61ページ**
間違って認識された文字はあとで訂正します。

- このほか、手書きで字を書くと、何もしなくても約1秒後に自動的に認識されるようにすることもできます。➔ **261**ページ

一文字一文字、正しく認識されたか確認して入力

手書きで字を書いては手書きパネルの【認識】をタッチする、という操作を繰り返します。
文字を入力する状態で、以下のようにします。

- ここでは、日本語系の文字（ひらがなと漢字）を使った例で説明します。

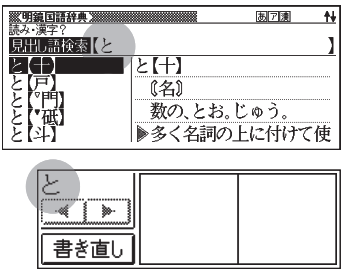
操　作	画　面
手書きパネルの空いているマスに字を書く • 書き直したいとき 手書きパネルの【書き直し】をタッチして入力欄をクリアーします。	

- マスの順番は決まっていません。どのマスに書いても、書いた順に文字を認識します。

次ページに続く

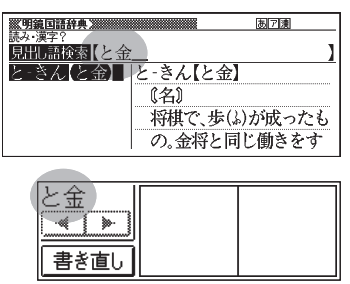
手書きパネルの【認識】をタッチする
画面と手書きパネルに、手書きの文字が認識、入力されます。

- 正しく認識されなかったときは
➔ **65**ページ



手書きパネルの空いているマスに次の字を書く

手書きパネルの【認識】をタッチする
画面と手書きパネルに、手書きの文字が認識、入力されます。



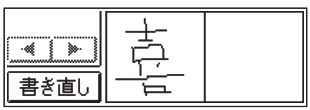
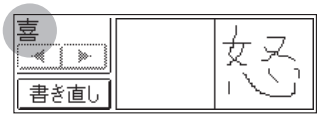
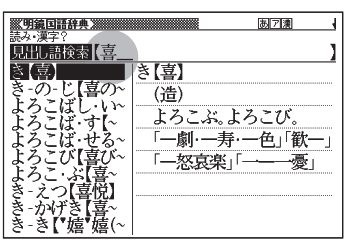
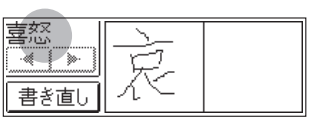
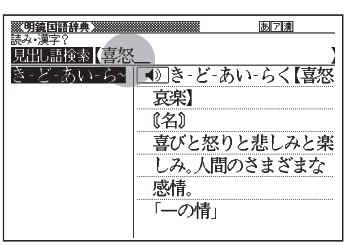
手書き➔手書きパネルの【認識】をタッチする、の操作を繰り返し、希望のことばを入力する

- ことばを入力してからの、検索などのしかたは、キーボードを使って検索語を入力したときと同じです。
- 手書きで字を書いているときに本機のキーを押すと、手書きの操作は無効になります。
- ひらがな、カタカナ、漢字は、JISX0213-2004とJISX0212-1990に準拠しています。(ただし、JIS第三水準漢字、JIS第四水準漢字、補助漢字を除きます。)
- 「漢字源」だけは、JIS第三水準漢字、JIS第四水準漢字、補助漢字も認識されます。

何文字かまとめて入力する

手書きパネルの入力欄すべてを使って次々に文字を書きます。
文字を入力する状態で、以下のようにします。

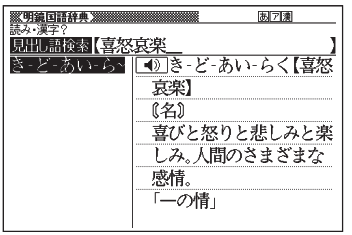
- ここでは、日本語系の文字（漢字）を使った例で説明します。

操　作	画　面
手書きパネルの空いているマスに字を書く • マスの順番は決まっていません。どのマスに書いても、書いた順に文字を認識します。	
続けて、手書きパネルの空いている別のマスに字を書く 字を書き始めると最初に書いた文字が認識、入力されます。	 
さらに、空いている別のマスに字を書く 2番目に書いた文字が認識、入力されます。	 

次ページに続く

空いているマスに順番に字を書く操作を続け、希望のことばを入力する

- 正しく認識されていない字があるときは ➔ **65**ページ



希望のことばの最後の字を書いたら、手書きパネルの【認識】をタッチする

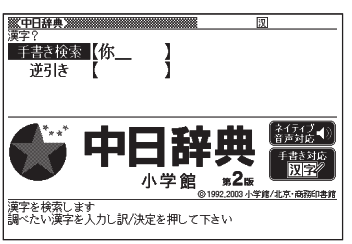
- ことばを入力してからの、検索などのしかたは、キーボードを使って検索語を入力したときと同じです。
- 二桁の数を入力するときは、パネル内に一桁ずつ手書きしてください。

日本語系の字以外の入力例

中国語簡体字、ハングル、ロシア文字、アクセント符号つきアルファベットは、それらを使う辞典を収録していない機種では入力できません。ただし、それらを使う別売ソフトを使用するときは入力できます。
以下の説明は、必要に応じてお読みください。

中国語簡体字の場合（「中日辞典」で）

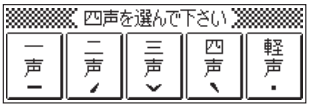
「你」と書く



- 中国語簡体字は、GB18030-2000に準拠の字が認識されます。
- ピンインを手書きで入力することはできません。

中国語簡体字のピンインをキーボードと手書きパネルで入力する

ピンインが入力できる状態では、手書きパネルは以下のようになります。



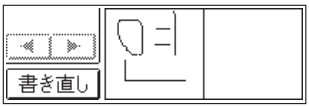
音節のアルファベットをキーボードで入力したら、手書きパネルに表示された四声（¯、ˊ、ˇ、ˋ）および軽声（•）をタッチします。

例

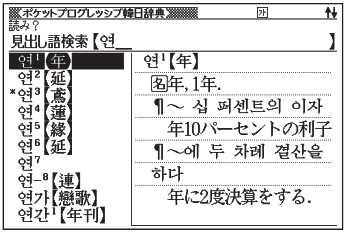
「zàijiàn（再见）」は、キーボードでZ A I と入力し、手書きパネルの[四声]をタッチ、続けてキーボードでJ I A Nと入力し、手書きパネルの[四声]をタッチします。

- 本機は四声および軽声を数字で表します。
  一声に「1」、二声に「2」、三声に「3」、四声に「4」、軽声に「0」
  上記の例では、「zai4jian4」と入力されます。

韓国語の場合（「韓日辞典」で）



「연」と書く



- ハングルは、KSC5601に準拠の字が認識されます。

次ページに続く

ハングルを手書きパネルから選んで入力する

ハングルが入力できる状態では、手書きパネルにハングル文字のキーボードが表示されます。

キーボードのハングル文字にタッチすると、画面の入力欄にその文字が入ります。

- 環境設定の「ソフトキーボード」を「ON」にしているときに入力できます。（➔ **261**ページ）

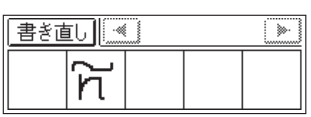
ロシア語を手書きパネルから選んで入力する

ロシア語が入力できる状態では、手書きパネルにロシア文字のキーボードが表示されます。

キーボードのロシア文字にタッチすると、画面の入力欄にその文字が入ります。

- 環境設定の「ソフトキーボード」を「ON」にしているときに入力できます。（➔ **261**ページ）

アクセント符号つきアルファベットの場合（「現代スペイン語辞典」で）



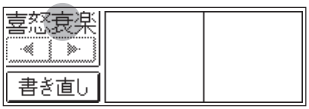
「ñ」と書く

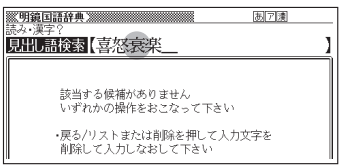
- アクセント符号つきアルファベットは、画面の入力欄に書いたまま表示されます。ただし、検索するときはアクセント符号なしの文字として扱われます。

間違って認識された文字の訂正

「あ」と書いたのに、入力欄には「お」と表示された、など、正しく認識されなかったときは、以下のように訂正します。

- ここでは、「喜怒哀楽」と書いたのに「喜怒衰楽」と間違って認識された場合を例に説明します。

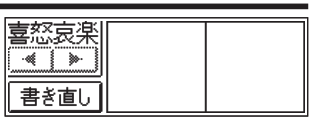
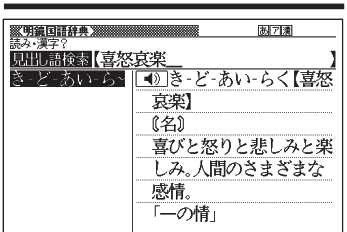




操　作	画　面
手書きパネル、または画面上で、間違って認識された字(ここでは「衰」)をタッチする 手書きパネルに、文字の候補（10文字まで）が表示されます。	

正しい字が見つからない場合

手書きパネルの【書き直し】をタッチします。入力欄の、間違って認識された文字が削除されますので、もう一度手書きで書き直してください。

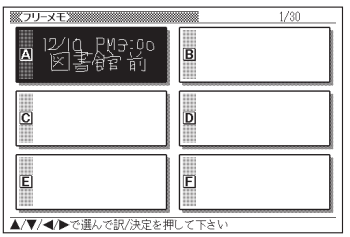
正しい字（ここでは「哀」）が見つかったら、タッチする	
入力された文字に従って、検索の結果が表示されます。	

手書きパネルからメモを書く

暗記カード、見出しメモ、フリーメモでは、タッチペンで手書きした内容を、そのまま登録することができます。

• ここではフリーメモを例に説明します。

●フリーメモ画面

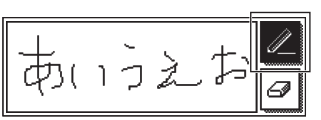


●メモ入力画面

• ✎になっているときは手書きできます。◻になっているときは書いたものを消すことができます。

■ ペンで書く

手書きパネルをメモが入力できる状態にする



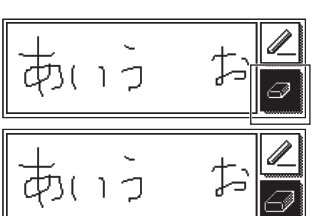
✎になっていることを確認し、タッチペンでメモを手書きする

- ✎が反転していないときは、✎をタッチして反転させます。
- ✎をタッチするたびに、ペンの太さが2段階で切り替わります。

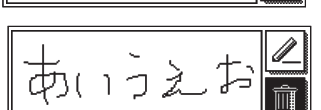
■ メモを消す

◻をタッチして◻にする

- ◻（消しゴム小）をタッチするたびに、◻（消しゴム大）、🗑（ゴミ箱）と切り替わります。
- メモの一部を消したいときは、◻または、◻にしてから、消したい部分をタッチペンでなぞります。



- メモをすべて消したいときは、🗑にしてから、手書きパネルをタッチします。このとき✎、🗑となります。🗑を2回タッチすると◻になります。



国語辞典・英和辞典の検索

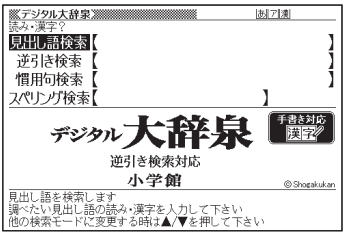
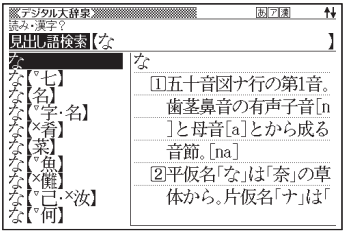
国語辞典の検索

ここでは、「デジタル大辞泉」を使って、日本語の検索の練習をしてみます。

■ 調べたいことばを入力する：見出し語検索

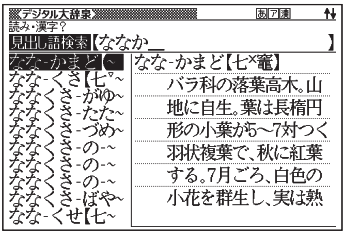
もっとも基本的な使いかたです。調べたいことばの最初の何文字かを入力します。
ここでは、「ななかまど」ということばの意味を調べてみましょう。
「デジタル大辞泉」の最初の画面から、次のように調べます。

- 「デジタル大辞泉」は、メニューの「国語系」の中にあります。

操　作	画　面
▲▼で「見出し語検索」を選ぶ	
「な」と入力する 「な」ではじまる語の一覧が表示されます。	

次ページに続く

続いて、「なか」と入力する
「ななかまど」が見つかりました。



- 以下、リストでことばを選び、その意味を調べましょう。

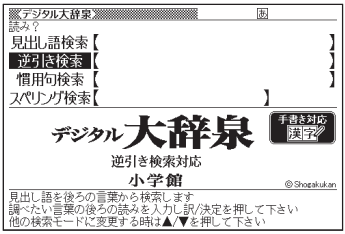
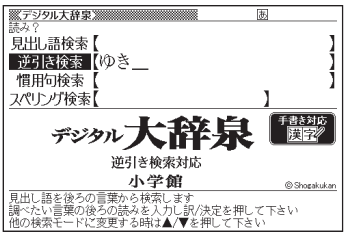
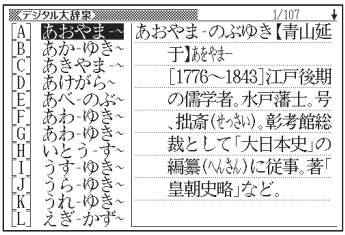
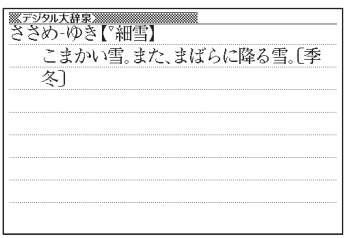
つづりを完全に覚えていないとき

つづりの記憶があいまいでも、不確かな部分は「?」や「～」で代用して検索できます。

- 「?」は、シフトを押し、離してからKを押して入力します。
- 「～」は、シフトを押し、離してからLを押して入力します。
- 「?」はひとつで一文字の代用です。(ワイルドカード)
  (例 :「ななかまど」の下線のつづりがあいまいなとき ➔「な?か?ど」と入力)
- 「～」はひとつで連続する数文字の代用です。(ブランクワード)
  (例:「ななかまど」の下線のつづりがあいまいなとき ➔「な～ど」と入力)

■ 最後が「○○」で終わることばを探す：逆引き検索

最後が「雪」「行」など、「ゆき」で終わることばにはどんなものがあるでしょうか。
「デジタル大辞泉」の「最初の画面」から、次のように調べていきます。

操　作	画　面
▲ ▼で「逆引き検索」を選ぶ	
「ゆき」と入力する	
訳／決定を押す	
▲ ▼で意味を調べたいことばを探す ⏫ ⏬を押すと、リストが画面単位で切り替わります。	
意味を調べたいことばを選び、 訳／決定を押す または、先頭のアルファベット（A、B、Cなど）のキーを押します。	

次ページに続く

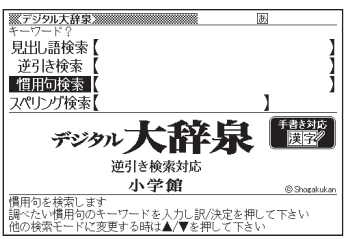
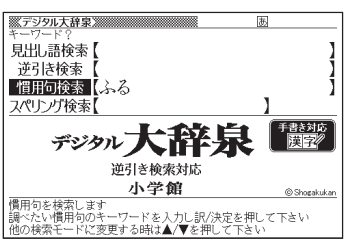
■ ひとつのことばを手がかりに慣用句を探す：慣用句検索

慣用句検索のポイント

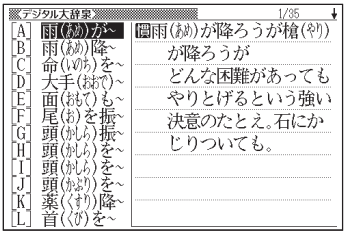
- 調べたい慣用句のキーワード、または全文を入力します。
- 動詞・形容詞は、終止形以外でも検索できます。

（例：「立つ鳥跡を濁さず」→「にごさず」「にごす」のどちらでも検索可能。）

では、「ふる」と入力するとどんな慣用句が見つかるでしょうか。やってみましょう。
「デジタル大辞泉」の「最初の画面」から、次のように調べていきます。

操　作	画　面
▲▼で「慣用句検索」を選ぶ	
「ふる」と入力する	

訳／決定を押す



•以下、自由に慣用句の意味を調べましょう。

■ 英語などのスペルで調べる：スペリング検索

「デジタル大辞泉」には、見出し語に英語などのスペルが付記されているものがあります。

例 ダイヤモンド-ダスト【diamond dust】

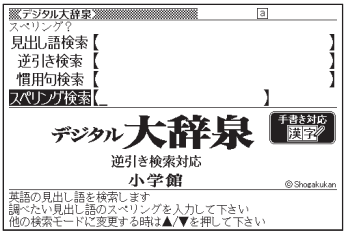
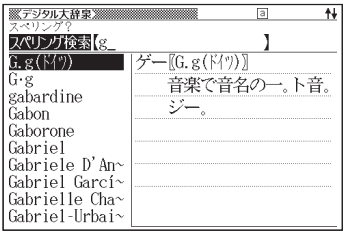
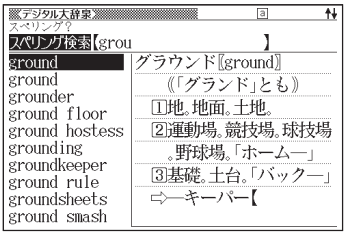
本機では、日本語ではなく、英語などのスペルを入力して調べることもできます。

スペリング検索のポイント

ハイフン（-）やスペース（空白）は省略します。
（例：×diamond dust　○diamonddust）

「ground」と入力して意味を調べてみましょう。
「デジタル大辞泉」の「最初の画面」から、次のように調べていきます。

次ページに続く

操　作	画　面
▲▼で「スペリング検索」を選ぶ	
「g」と入力する 「g」ではじまる語の一覧が表示されます。	
続いて、「rou」と入力する 「ground」が見つかりました。	

- 以下、リストからことばを選んで意味を調べてみましょう。

英和辞典の検索

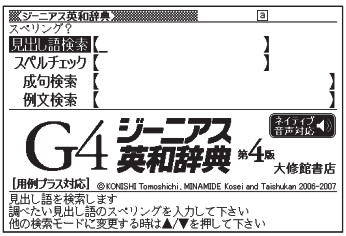
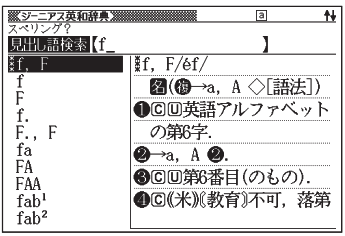
ここでは、「ジーニアス英和辞典」を使って、英和辞典の使いかたを練習してみます。

- XD-GP5900MEDでは「ジーニアス英和大辞典」です。操作は以下と同様です。

■ 調べたいことばを入力する：見出し語検索

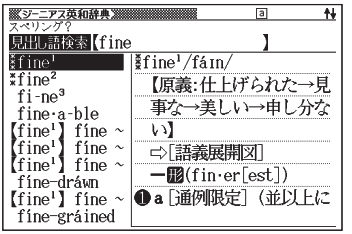
もっとも基本的な使いかたです。調べたいことばの最初の何文字かを入力します。
ここでは、「fine」ということばの意味を調べてみましょう。
「ジーニアス英和辞典」の最初の画面から、次のように調べます。

- 「ジーニアス英和辞典」は、メニューの「英語系」の中にあります。

操　作	画　面
▲▼で「見出し語検索」を選ぶ	
「f」と入力する 「f」ではじまる語の一覧が表示されます。	

次ページに続く

続いて、「ine」と入力する
「fine」が見つかりました。



- 以下、リストでことばを選び、その意味を調べましょう。

スペル入力のポイント

- ハイフン (-) やスペース (空白) は省略します。
  (例 : ×heaven-sent　○heavensent)
- 複合語 (2語以上からなる見出し語) は、スペルを続けて入力します。
  (例 : ×absolute altitude　○absolutealtitude)
- 「&」は「and」と入力します。

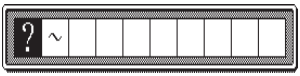
スペルを完全に覚えていないとき

スペルの記憶があいまいでも、不確かな部分は「?」や「~」で代用して検索できます。

- 「?」は、シフトを押し、離してからKを押して入力します。
- 「~」は、シフトを押し、離してからLを押して入力します。
- **「?」はひとつで一文字の代用です。(ワイルドカード)**
  (例:「subordinate」の下線のスペルがあいまいなとき ➔「sub?rdi??te」と入力)
- **「~」はひとつで連続する数文字の代用です。(ブランクワード)**
  (例 :「subordinate」の下線のスペルがあいまいなとき ➔「sub ~ te」と入力)

「?」や「～」を一覧から入力するには

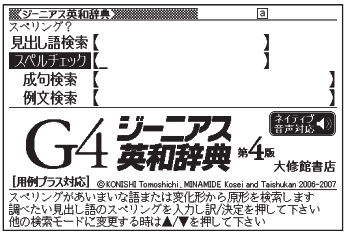
記号を押すと、記号選択画面が表示されます。



◀ ▶で入力したい記号を反転させ、訳／決定を押します。
何も入力しないで記号選択画面を閉じるには、戻る/リストを押します。

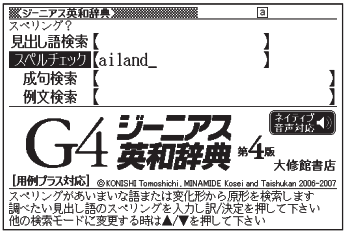
■ 英単語のスペルをチェックする：スペルチェック

スペルの不確かな単語を、適当に入力しても、本機がそれに近いスペルの単語を探してくれます。単語の意味と合わせて正しいスペルを調べたいときに、この検索方法が使えます。
ここでは、ailand（正しいスペルはisland）と入力してみましょう。
「ジーニアス英和辞典」の最初の画面から、次のように調べます。

操　作	画　面
▲ ▼で「スペルチェック」を選ぶ	

次ページに続く

「ailand」と入力する



訳／決定を押す

スペルが「ailand」に近い単語のリストが表示されます。

- 目的の単語が見つからないときは、▼または▼▼でリストの続きを見ます。

- 以下、リストでことばを選び、その意味を調べましょう。
- スペルチェックの機能を使うと、入力したスペルに近い単語のほか、入力したスペル（活用形など）の原形と思われる単語の候補も表示されます。（必ず正しい原形が表示されるとは限りません。また、収録された見出し語にない単語の活用形などを入力しても原形は表示されません。）

「見出し語検索」から正確なスペルを調べるには

「見出し語検索」（➔ 73ページ）であいまいなスペルを入力しさらに検索／ヒストリーを押す

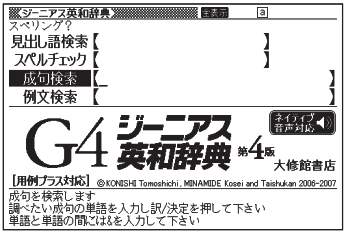
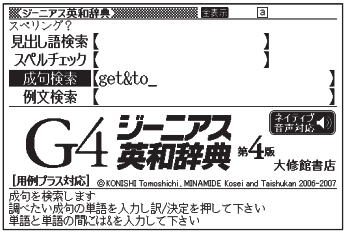
スペルチェック機能がはたらき、入力したスペルに近い単語のリストが表示されます（スペル／原形候補検索）。見出し語検索結果の一覧に、希望の見出し語が見あたらなかったときにご利用ください。

■ 英単語の成句（熟語）を調べる：成句検索

英語の単語をいくつか組み合わせてできる成句（熟語）の意味を調べることができます。

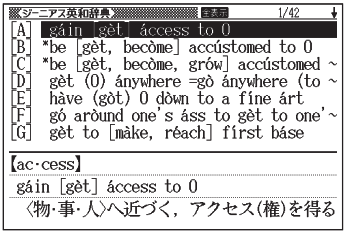
成句検索のポイント

成句で使われる単語を「&」でつないで入力します。
ここでは、「get」と「to」というふたつの単語を使ってできる成句を検索してみます。
「ジーニアス英和辞典」の最初の画面から、次のように調べます。

操　作	画　面
▲▼で「成句検索」を選ぶ	
「get&to」と入力する	

次ページに続く

訳／決定を押す
「get」と「to」を使った成句のリストが表示されます。



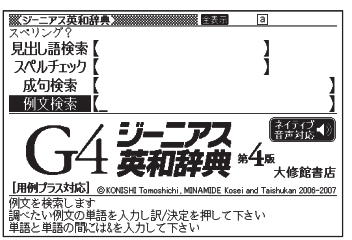
- 以下、リストで成句を選び、その意味を調べましょう。
- リストの候補数が多い場合、さらに単語を追加したり、単語の語順を指定して候補を絞り込むことができます。
（例文や成句の絞り込み検索 ➔ **122**ページ）

■ 英単語を使った例文を調べる：例文検索

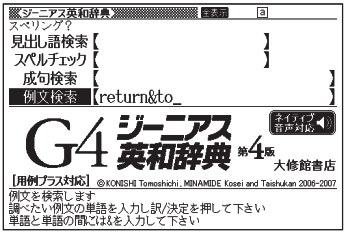
「ジーニアス英和辞典」に記載されている例文だけを拾い出すことができます。
ひとつまたはふたつ以上の単語を入力すると、入力した単語を使った例文が表示されます。

例文検索のポイント
ふたつ以上の単語を入力するときは、単語を「&」でつなぎます。

ここでは、「return」と「to」を使った例文を検索してみます。
「ジーニアス英和辞典」の最初の画面から、次のように調べます。

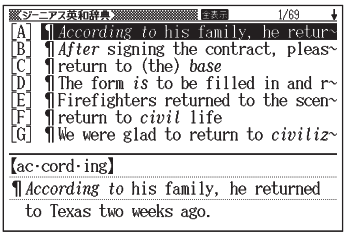
操　作	画　面
▲▼で「例文検索」を選ぶ	

「return&to」と入力する



訳／決定**を押す**

「return」と「to」を使った例文のリストが表示されます。



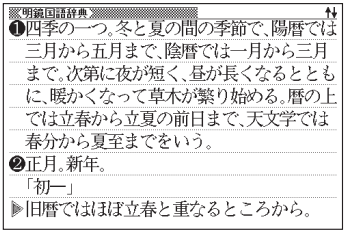
- 以下、リストで例文を選び、その意味を調べましょう。
- リストの候補数が多い場合、さらに単語を追加したり、単語の語順を指定して候補を絞り込むことができます。
（例文や成句の絞り込み検索 ➔ **122**ページ）

検索結果画面での基本操作

ことばの意味や解説など、辞典の中身が表示されているとき、次の操作ができます。

説明の続きを見る

意味や説明が画面に収まりきらないとき、画面右上に↑↓←→が表示されます。



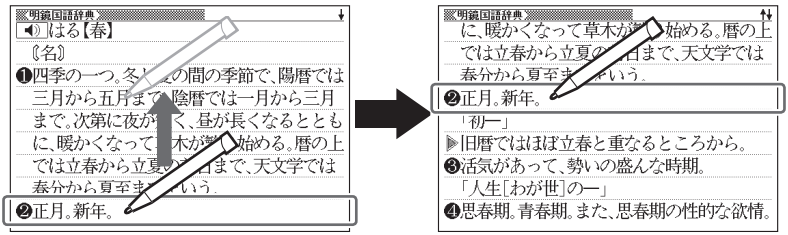
■ キーを使って

以下のキーで説明の上下左右を見ることができます。

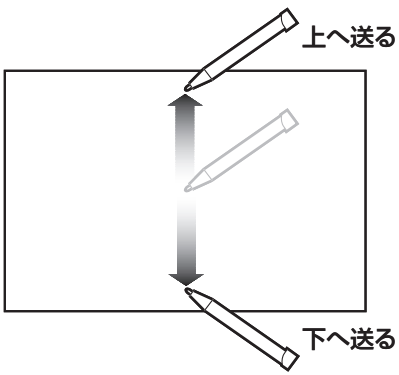
キー	働き
▲ ▼	1行ずつ上へまたは下へと送る（行送り） 押し続けると、早く送ることができます。
⏫ ⏬	画面単位で上または下へと送る（ページ送り）
◀ ▶	左または右へ送る

■タッチペンを使って

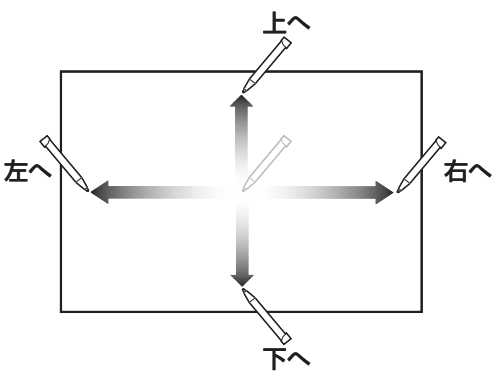
意味や説明の画面に続きがあるときは、タッチしたままなぞるように画面上を移動すると、ペン先の位置に合わせて画面が送られます。



上下に続きがある場合



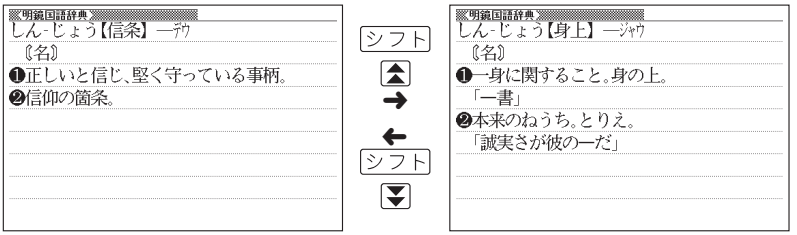
上下左右に続きがある場合



前後の見出し語に切り替える

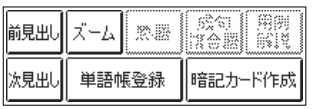
■ キーを使って

ことばの意味の画面で[シフト]を押し、離してから[▲][▼]を押すと、ひとつ前またはひとつ後の見出し語の意味に切り替わります。



■ 手書きパネルを使って

ことばの意味の画面では、手書きパネルは次のようになっています。



【前見出し】または【次見出し】をタッチすると、ひとつ前またはひとつ後の見出し語の意味に切り替わります。

別の辞典に切り替える

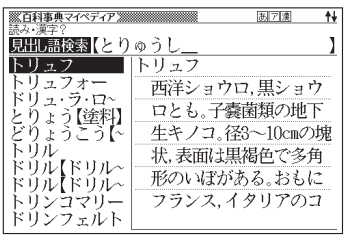
メニュー/学習帳を押してメニュー画面に切り替え、そこから別の辞典を選びます。

• 辞典／モードキーで一発切り替え ➔ **84**ページ

戻る/リスト を押せば、ひとつ前の画面へ

誰しもミスはつきもの。
間違ったキーを押してしまい、思わぬ画面になってもあわてずに。
本機では、戻る/リストを押すとひとつ前の画面に戻ることができます。

たとえば・・・
百科事典で「素粒子」を調べたくて、見出し語検索に「そりゅうし」と入力したつもりが、間違いに気づかないまま「とりゅうし」と入力したとします。
画面は、次のように、まったく思わぬ結果になります。



このときは、戻る/リストを押せば百科事典の最初の画面に戻り、あらためて「そりゅうし」と入力し直すことができます。

- 手書きパネルの【戻る／リスト】をタッチしても、ひとつ前の画面に戻ることができます。

よく使う辞典は辞典／モードキーで一発表示

メニュー/学習帳を押し、メニュー画面から使いたい辞典を選ぶのが本機の基本操作です。

本機には、**メニュー画面を出さなくても、すぐに目的の辞典に切り替える**ことのできるキーがあります。まとめて、辞典／モードキーと呼びます。

複数アルファベット/複数ひらがな	大辞泉/明鏡国語	医 学/漢字源	英和/マイペディア	和 英/医療の英会話	メニュー/学習帳	お気に入り/ライブラリー

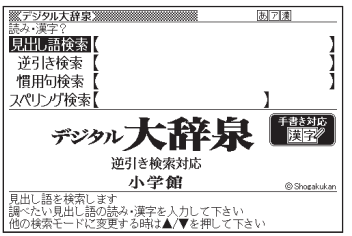
辞典／モードキーは全部で7つ。それぞれに、あらかじめよく使われそうな辞典が登録されています。ひとつのキーには、ひとつまたはふたつの辞典が登録されています。

キーを1度押すとひとつめの辞典の最初の画面になります。もう1度押すとふたつめの辞典の最初の画面になります。

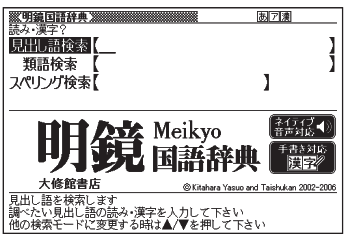
例

大辞泉/明鏡国語

このキーを押すと →



もう一度押すと →



• シフトを押し、離してから辞典／モードキーを押すと、最初にふたつめの辞典が表示されます。

「お気に入り」「ライブラリー」とは

辞典／モードキーには、「お気に入り／ライブラリー」キーがあります。これらには、お買い上げいただいたときには何も登録されていません。

- 「お気に入り」に好きな辞典を登録 ➔ 「**お気に入り機能**」**119**ページ
- 「ライブラリー」にパソコンから電子の本やテキストファイルをコピーして登録 ➔ 「**ライブラリーを活用する**」**154**ページ

モードについて

なぜ「辞典／モード」キーと呼ぶのでしょうか。

本機には、電子辞書ならではの機能として、ひとつのことばを複数の辞典で調べたり、電卓として使ったり、といった機能があります。これらを「モード」と呼んでいます。

本機には、以下のモードがあります。

「**複数辞書アルファベットで検索**」「**複数辞書ひらがなで検索**」「**複数辞書漢字で検索**」
「**学習帳**」
「**ライブラリー**」
「**電卓**」

これらのモードのうち、「複数辞書アルファベットで検索」と「複数辞書ひらがなで検索」「学習帳」「ライブラリー」のモードが、あらかじめ辞典／モードキーに登録されています。

ことばからことばへ、辞典から辞典へ

意味や解説の画面から、**メニューに戻ることなしに**、検索を進めることができます。

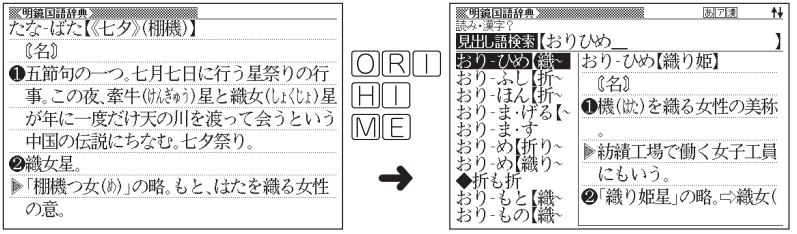
- 同じ辞典で別のことばへジャンプ ➔ このページ
- 別の辞典へジャンプ ➔ **88**ページ

同じ辞典で別のことばを調べる

■ 自分で入力して調べる

ことばの意味の画面で、同じ辞典を使って別のことばを調べたいときは、最初の画面に戻る必要はありません。
そのまま、調べたいことばを入力します。

例「明鏡国語辞典」の、「たなばた」の意味の画面で「おりひめ」と入力



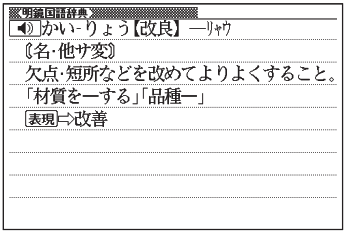
- 明鏡国語辞典など、最初の画面で文字やスペルを入力してことばの意味を調べる辞典で、この操作ができます。

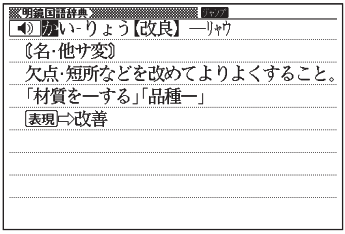
■ 画面に⇨や⇦が表示されているとき

意味や解説の画面で、⇨や⇦の記号が表示されていることがあります。この記号は、同じ辞典の中にそのことばを含む別のことばや、関連項目などが収録されていることを示しています。

例「明鏡国語辞典」の、「かいりょう」（改良）の意味の画面

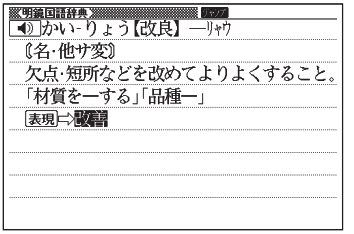
この例の画面で、「かいぜん」（改善）の意味を調べるには、次のようにします。



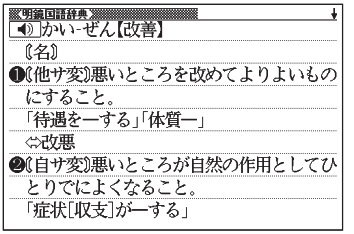
操　作	画　面
ジャンプ ガイド を押す 画面の上に ｼﾞｬﾝﾌﾟ が表示され、意味の説明の最初の文字が反転します。	

次ページに続く

▲▼で「改善」を反転させる



訳／決定を押す
「改善」の意味の画面にジャンプします。



- ジャンプして表示された画面から、さらにジャンプできます。画面分割検索（**90**ページ）と合わせて連続10回までジャンプできます。
- 表や図を表示しているときはジャンプできません。

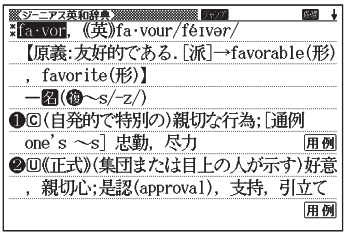
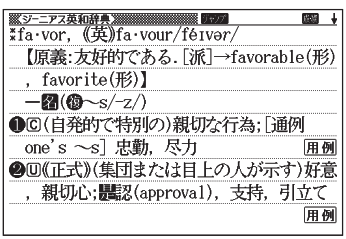
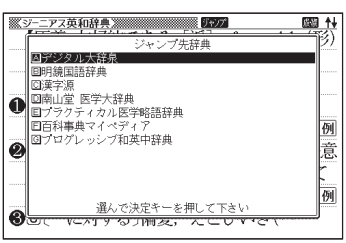
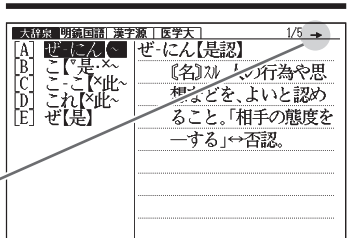
別の辞典にジャンプする

同じことばでも、別のことばでも、メニューに戻らずに別の辞典にジャンプして調べることができます。

例「ジーニアス英和辞典」の、「favor」の意味の画面

- XD-GP5900MEDでは「ジーニアス英和大辞典」です。操作は以下と同様です。

この例の画面に表示されている、「是認」ということばの意味を「デジタル大辞泉」で調べるには、以下のようにします。

操　作	画　面
ジャンプ ガイド を押す 画面の上に ｼﾞｬﾝﾌﾟ が表示され、意味の説明の最初のことば（ここでは「favor」）が反転します。	
▲▼◀▶で「是」を反転させる • 日本語を調べるときは、1文字だけが反転します。2文字以上を反転させることはできません。	
訳／決定を押す ジャンプ先候補の辞典の一覧が表示されます。	
▲▼で「デジタル大辞泉」を反転させ、訳／決定を押す または、Aを押します。 「是」を含むことばが検索されます。 • この例では、◀▶で別の辞典に切り替えることもできます。	

次ページに続く

▲▼で「是認」を反転させ、訳／決定を押す

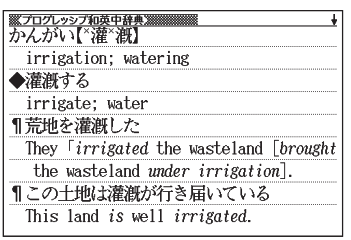
- ▲▼◀▶で、同じことば（この例では「favor」）を選んでジャンプすることもできます。この場合、同じことばを別の辞典で調べることになります。
- ジャンプして表示された画面から、さらにジャンプできます。画面分割検索（このページ）と合わせて連続10回までジャンプできます。
- 表や図を表示しているときはジャンプできません。
- 日本語を調べるときは、反転させた1文字から始まることば（文字列）が自動的に区切られ、キーワードになります。ジャンプ先ではキーワードの全体または始めの一部と一致する見出し語が検索されます。
- 複数形(dishes)や比較級(bigger)のように語尾変化している英単語を反転させたときは、単数形(dish)や原級(big)が検索されます。
- 手書きパネルの【前回ジャンプした辞書へ】にタッチすると、前回ジャンプした辞典にジャンプします。

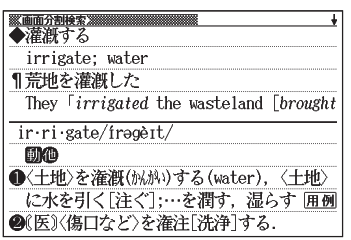
画面の上下にふたつの辞典を表示する：画面分割検索

意味や説明の画面の下半分に、別の辞典を表示することができます。

例「プログレッシブ和英中辞典」で「灌漑」を意味する英語を調べている画面

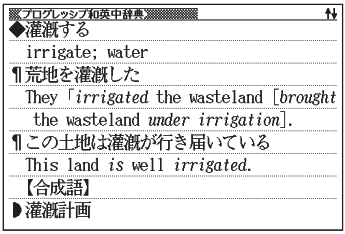
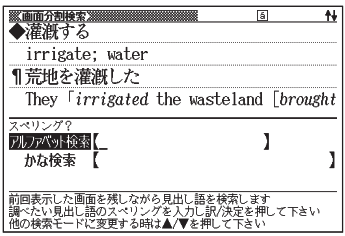
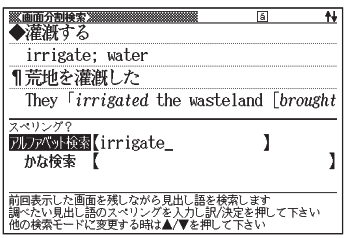
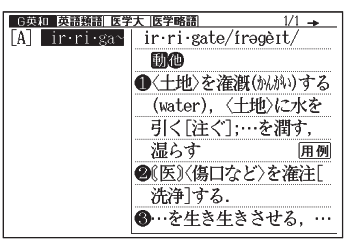
この画面で、「灌漑」を意味する英語は「irrigation」であることがわかりました。さらに、「灌漑する」という動詞は「irrigate」であることもわかります。「irrigate」を、「ジーニアス英和辞典」で調べ、その結果を画面の下半分に表示すると、以下のようになります。





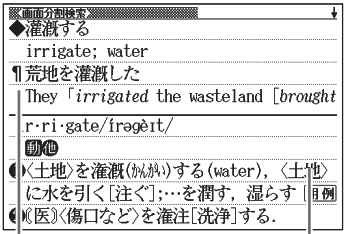
このような画面にするには、以下のようにします。

- XD-GP5900MEDでは「ジーニアス英和大辞典」です。操作は以下と同様です。

操　作	画　面
▲▼で「灌漑する」の説明が画面の上半分にくるようにする • 画面分割後は、画面の上半分を▲▼で切り替えることはできなくなります。必ず、見たい部分が画面の上半分にくるように調節しておいてください。	
さらに検索 ヒストリー**を押す** 画面が上下に分かれ、下半分で英語のスペルやことばの読みを入力できる状態になります。	
▲▼で「アルファベット検索」を反転させ、「irrigate」と入力する	
訳／決定**を押す** 画面上の辞典の候補のひとつ、「ジーニアス英和辞典」が選ばれ（反転し）、検索結果（「irrigate」）も表示されています。 • この例では、◀▶で別の辞典に切り替えることもできます。	

次ページに続く

訳／決定**を押す**
画面下半分に、「ジーニアス英和辞典」の「irrigate」の項が表示されます。



- 画面が二分割された状態では、▲▼を押すと画面下半分の続きを見たり戻ったりすることができます。

  「かな検索」を使って、日本語系の辞典を画面下半分に表示することもできます。
- 訳／決定を押すと、画面下半分の辞典の意味の画面になります。
- 画面を分割した状態では「ヒストリー」「単語帳」の機能しか使用できません。他の機能を使いたいときは、意味や解説の画面にしてください。

この機能で検索される辞典／モード名 ➔ **255**ページ

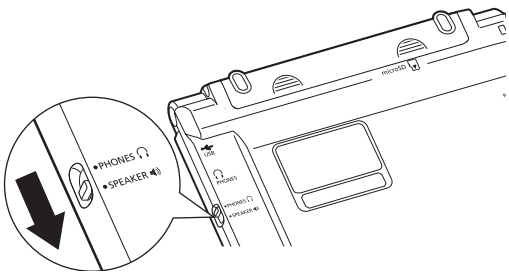
発音も確かめられる音声機能

発音を聞く前に

本機に録音されている音声は、内蔵スピーカーまたは付属の専用ヘッドホンで聞くことができます。

■ スピーカーを使うとき

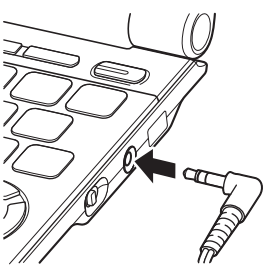
1 本体側面の音声出力切替スイッチを「SPEAKER」側にする



■ ヘッドホンを使うとき

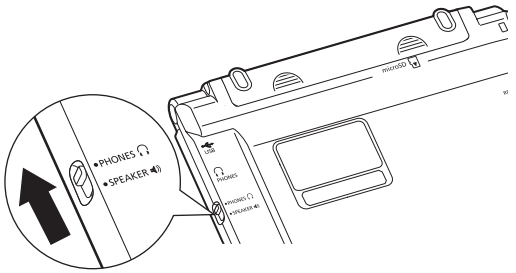
1 ヘッドホンを接続する

ヘッドホンのプラグは、中までグッと押し込むようにして、しっかりと接続してください。



次ページに続く

2 本体側面の音声出力切替スイッチを「PHONES」側にする



ヘッドホンについて

必ず付属の専用ヘッドホンをお使いください。付属品以外のステレオヘッドホンをお使いになると、音が出なかったり、音質が変化してしまうことがあります。またモノラルイヤホンでは音が出ません。

■ 音量の調節

音声出力中に音量(大) ▲ を押すと大きく、音量(小) ▼ を押すと小さくなります。

- 16 段階で調節できます。

音声出力中以外のときシフト ▲ または シフト ▼ を押すと、音量設定画面が表示されます。
音量(大) 音量(小)
▲ ▼ で音量を調節し、訳／決定を押します。

- 音量が大きいと、音がひずむことがあります。その場合は、少し小さめにしてください。
- 「電池が消耗しています」と表示されたときは、音声機能を使用できません。

ネイティブの発音を聞く：トゥルーボイス®

本機では、単語や例文を、ネイティブの発音で聞くことができます。
ネイティブの発音を聞く方法は2つあります。

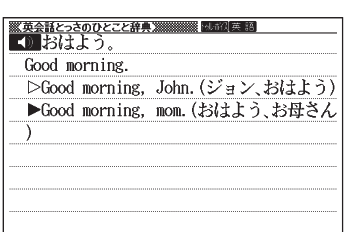
方法1 ▶ **意味の画面に[◀))]が表示されているとき** → **このページ**
[◀))]は、各コンテンツごとに録音されたネイティブの発音が収録されていることを示します。

方法2 ▶ **意味の画面に英単語が表示されているとき** → **96ページ**
発音を聞きたい英単語を選びます。
カシオで独自に録音したネイティブの発音（約10万語）に英単語が収録されているかを本機が探し、収録されていればネイティブの発音を聞くことができます。収録されていなくても、合成音声による発音を聞くことができます。

- 「方法2」で英語のネイティブ発音を聞くときは、音声言語設定（→ **100**ページ）を「英語」に設定しておいてください。
  他の言語に設定していると、その言語での「読み上げ音声」(→ **97**ページ）で発音されます。
  また、OFFに設定していると、英単語を選ぶことができません。

■ 意味の画面に[◀))]が表示されているとき

[◀))]が表示されたら、以下のようにします。

操　作	画　面
[◀))音声]を押す [◀))]が反転し、トゥルーボイスが表示されます。	

次ページに続く

訳／決定を押す

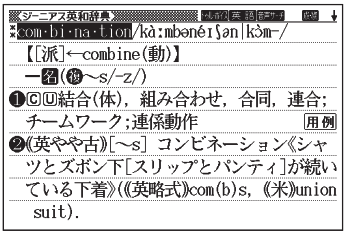
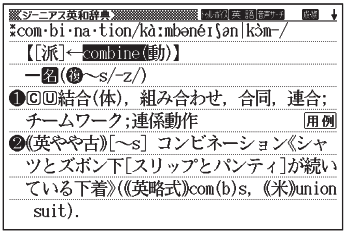
◀))の右あるいは下にある単語や例文が発音されます。

◀))が複数あるときは、▲▼で選ぶことができます。

- 音声が聞こえないときは、音量を調節します。➔ **94**ページ
- 英語系の辞典では、見出し語リスト／プレビュー画面で◀))音声を押すと、発音を聞くことができます。
- 発音を聞くのをやめるには、戻る/リストを押します。トゥルーボイスが消えます。
- 発音のスピードを調整できます。➔ **99**ページ

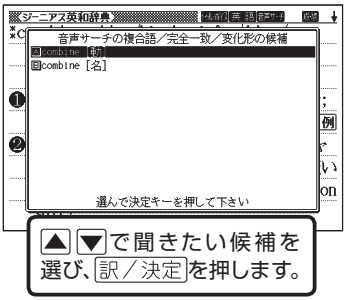
■ 意味の画面に英単語が表示されているとき

英語系の辞典に限らず、意味の画面に英単語が表示されているとき、その発音を聞くには以下のようにします。

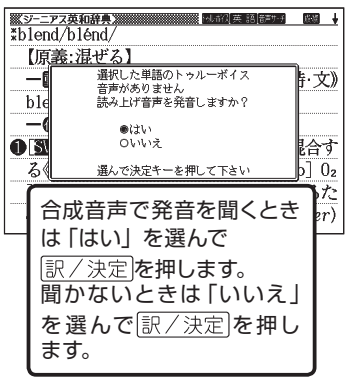
操　作	画　面
◀))音声を押す トゥルーボイス 音声サーチが表示されます。	
▲▼◀▶で発音を聞きたい英単語を反転させる	

訳／決定**を押す**

- 収録された発音がひとつだけあるときは、反転している単語が発音されます。
- 発音の候補がふたつ以上あるとき（たとえば、動詞として発音するか、名詞として発音するか、など）は、候補の一覧が表示されます。



- ネイティブの発音が収録されていないときは、合成音声で発音を聞くかどうかを選ぶ画面が表示されます。



- 発音を聞くのをやめるには、戻る/リストを押します。
- 英語以外の単語は適切な発音となりません。
- 一部の同形異音語は、適切な発音にならないことがあります。

合成音声で発音を聞く：7言語音声読み上げ

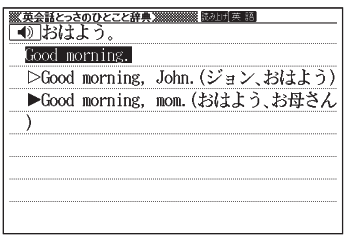
英語・スペイン語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・中国語・韓国語のことばを合成音声で聞くことができます。

- 辞典によっては、音声で聞くことのできることばがない場合があります。
- 辞典ごとに、何語で発音するか正しく設定されていますが、国語辞典など、読み上げ音声機能が「OFF」になっているものもあります。この場合、どの言語で発音するかを設定します。➔ **100**ページ
  中国語・韓国語は、中国語系辞典または韓国語系辞典の収録モデルのみ設定できます。非収録モデルでは、別売品の中国語系・韓国語系辞典追加時に設定できます。

次ページに続く

- 中国語のピンイン表記、アルファベット表記、一部の漢字は発音されません。
- 韓国語は「ハングル」文字以外のことばは発音されません。
- ライブラリー（➔ **154**ページ）に追加したテキストファイルは、読み上げ言語として英語・中国語・韓国語が設定可能です。

意味や解説の画面で、英語などのことばが表示されているとき、以下のようにします。

操　作	画　面
シフトを押し、離してから音声（読み上げ）を押す（読み上げ） 読み上げが表示され、発音を聞くことのできることばや例文が反転します。 また、発音される言語のアイコン（英 語など）が表示されます。	

▲▼で聞きたい単語や熟語、例文を反転させる

- 熟語や例文が反転しているときに▶を押すと、先頭の反転範囲が1単語分短くなります。設定 削除を押すか、シフトを押し、離してから◀を押すと、末尾の反転範囲が1単語分短くなります。

訳／決定を押す

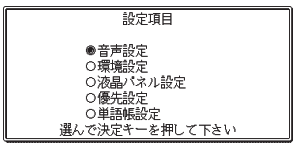
単語や例文が発音されます。

- 音声が聞こえないときは、音量を調節します。➔ **94**ページ
- 発音を聞くのをやめるには、戻る/リストを押します。読み上げが消えます。
- 発音のスピードを調整できます。➔ **99**ページ
- 文章を解析して発音するしくみになっています。同形異音語や数字の読み上げなどの場合、正しい発音がされないことがあります。
- 長い文章の場合、間が空いたり、途中で切れたり、正しい発音がされないことがあります。
- 文中にカッコがある場合、カッコの中は読み飛ばします。

音声機能の設定をする

操　作	画　面

シフト を押し、離してから 設定 削除 を押す
「設定項目」画面が表示されます。



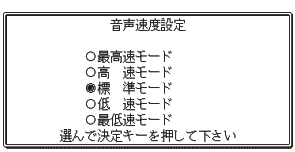
▲ ▼で「音声設定」を選び、訳／決定を押す
「音声設定」画面が表示されます。
設定項目を選んでください。

■ 発音のスピードを調整する

ネイティブの発音と、合成音声の発音スピードは、5段階で調整することができます。

操　作	画　面

▲ ▼で「音声速度設定」を選び、訳／決定を押す



▲ ▼で希望の速度を選び、訳／決定を押す
速度の目安：標準モードの約130%／ 120%／ 100%／ 85%／ 75%

操　作	画　面

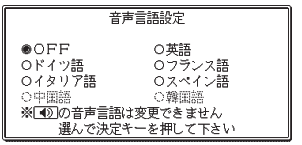
手書きパネルで発音のスピードを調整する
発音させたい単語が反転しているとき、手書きパネルは以下のようになります。

＋ － をタッチして希望のスピードに調整します。

次ページに続く

■ 読み上げる言語を設定する

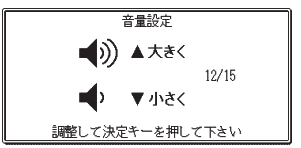
表示中の辞典の読み上げ言語を変更したり、オフ（発音しない）にすることができます。
例えば、「明鏡国語辞典」で「エルニーニョ」を調べると、スペイン語のつづりが表示されます。このことばをスペイン語の発音で聞きたいときは、以下のように言語を設定してから、合成音声で発音を聞きます。

操　作	画　面
▲▼で「音声言語設定」を選び、訳／決定を押す	

▲▼◀▶で発音させたい言語を選び、訳／決定を押す
（ここでは、スペイン語を選びます。）

■ 発音の音量を設定する

内蔵スピーカーの音量を16段階で設定することができます。

操　作	画　面
▲▼で「音量設定」を選び訳／決定を押す	

▲▼で希望の音量に調整し、訳／決定を押す

解説や図などを見る

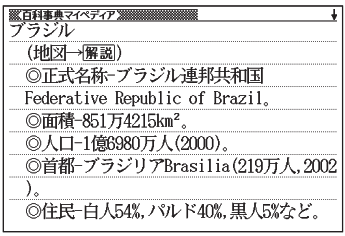
意味や解説の画面に解説が表示されているとき、そのことばをさらに詳しく説明する解説や図・表などを見ることができます。

例

「百科事典マイペディア」で「ブラジル」ということばを調べると、画面に（地図 ➔ 解説）が現れます。
これは、詳しい説明のために図が別に収録されていることを示しています。

- 他の辞典で（表 ➔ 解説）が現れた場合は、表が収録されていることを示します。

この画面で、解説（この場合は図）を見るには、以下のようにします。

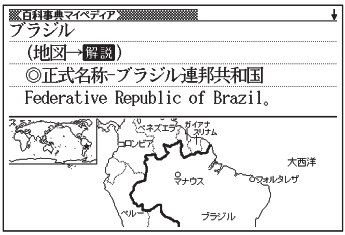


操　作	画　面

手書きパネルの【用例解説】をタッチする

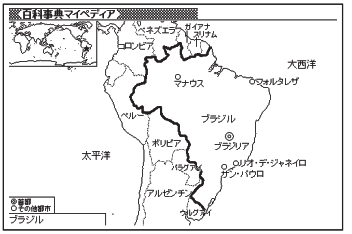
解説が反転します。

- 同じ画面に別の解説がある場合は、見たい解説をタッチします。



次ページに続く

手書きパネルの【訳／決定】をタッチする



- 解説や図·表などの上下左右に続きがある場合は、タッチペンでスクロール、または▲▼◀▶で続きを見ることができます。

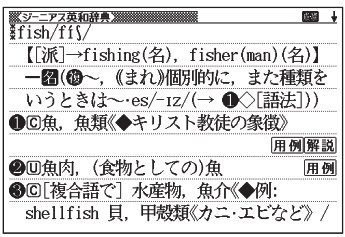
成句や複合語を見る

英和辞典などを使っていると、意味の画面に成複が表示されることがあります。これは、いま調べている単語を使った成句や複合語が収録されていることを示しています。

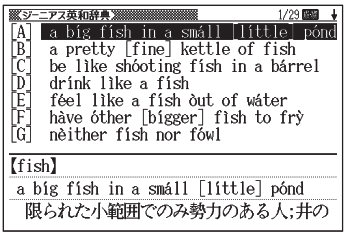
例

「fish」の意味の画面には、成複が表示されます。

- この画面には、ほかに解説（➔ 101ページ）、用例（➔ 105ページ）も表示されています。



この画面で、「fish」を使った成句や複合語を見るには、以下のようにします。

操　作	画　面
手書きパネルの【成句複合語】をタッチする 成句と複合語の一覧が表示されます。	
見たい成句や複合語をタッチして反転させ、手書きパネルの【訳／決定】をタッチする 選んだ成句や複合語の意味が表示されます。	

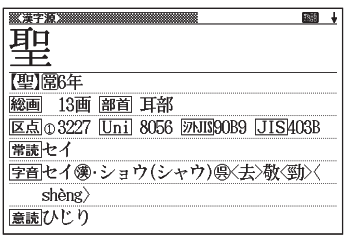
熟語を見る

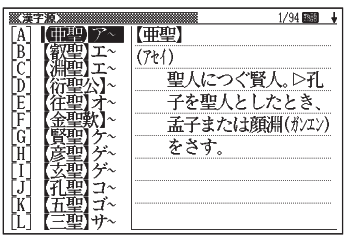
「漢字源」を使っていると、ほとんどの漢字で、意味の画面に熟語が表示されます。これは、いま調べている漢字を使った熟語が収録されていることを示しています。

例

「聖」の意味の画面には、熟語が表示されます。

この画面で、「聖」を使った熟語を見るには、以下のようにします。



操　作	画　面
手書きパネルの【熟語】をタッチする 熟語の一覧が表示されます。	

見たい熟語をタッチして反転させ、手書きパネルの【訳／決定】をタッチする
選んだ熟語の意味が表示されます。

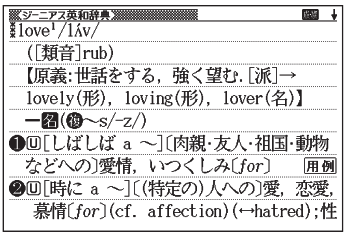
用例を見る

英語系の辞典を使っていると、意味の画面に用例が表示されることがあります。これは、いま調べている単語を使った用例が収録されていることを示しています。

例

「ジーニアス英和辞典」の「love」の説明の画面には、用例が複数表示されます。

この画面で、「love」を使った用例を見るには、以下のようにします。



操　作	画　面
手書きパネルの【用例解説】をタッチする 用例が反転します。	

▲▼◀▶で見たい用例を反転させ、手書きパネルの【訳／決定】をタッチする
用例が表示されます。

文字の大きさを変える／ズームする／レイアウトを変える

画面の表示を、好みに合わせて変更することができます。

文字の大きさを変える

意味や解説の画面や、リスト表示・プレビュー表示(➔ **31**ページ)の画面で、文字の大きさを変えることができます。

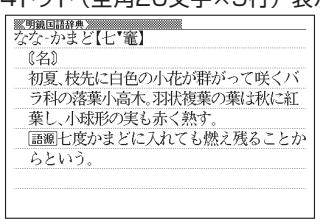
文字サイズ／レイアウト を押すごとに、3段階に切り替わります。

- 以下の例は、それぞれ罫線入りのレイアウト（➔ **109**ページ）の場合です。
- 解説（表や図）を表示しているときや学習用コンテンツ／脳鍛アプリ（➔ **178**ページ）では、変更できません。
- 韓国語・中国語では16ドット←→24ドットの2段階です（これらの言語の辞典の非収録モデルでは、別売ソフトの利用時）。
- 複数辞書検索／見出しメモの一覧画面では、16ドット←→24ドットの2段階で切り替わります。辞典を選択すると、各辞典に応じた文字サイズで表示されます。

■ 日本語系の辞典の場合

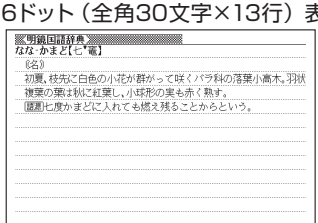
文字サイズ／レイアウト を押すごとに、以下のように切り替わります。

24ドット（全角20文字×9行）表示



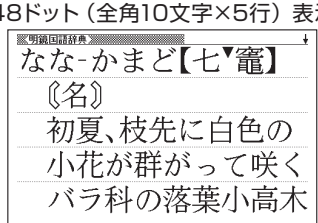
文字サイズ／レイアウト ↗　　↘ 文字サイズ／レイアウト

16ドット（全角30文字×13行）表示



← 文字サイズ／レイアウト

48ドット（全角10文字×5行）表示

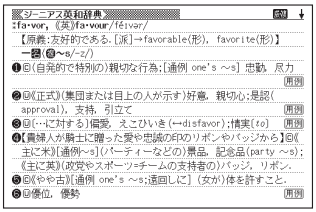


■ 英語・外国語系の辞典の場合

文字サイズ / レイアウト を押すごとに、以下のように切り替わります。

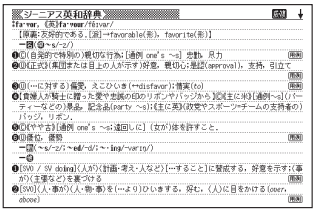
- 本機にダウンロードしたテキスト（➔ **154**ページ）も、以下のように切り替わります。

16ドット（全角30文字×13行）表示



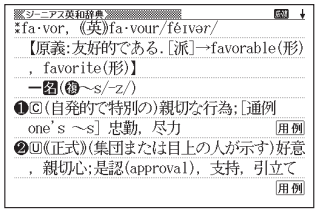
文字サイズ / レイアウト ↗　　↘ 文字サイズ / レイアウト

12ドット（全角40文字×18行）表示



文字サイズ / レイアウト ←

24ドット（全角20文字×9行）表示



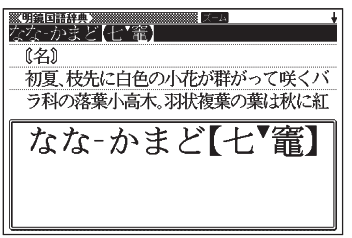
- 本書の画面は、特に記述がないかぎり、24ドット表示時のものです。

ズームする

意味や解説の画面で、行単位で文字を拡大することができます。

例

「明鏡国語辞典」で「ななかまど」の意味を調べているとき

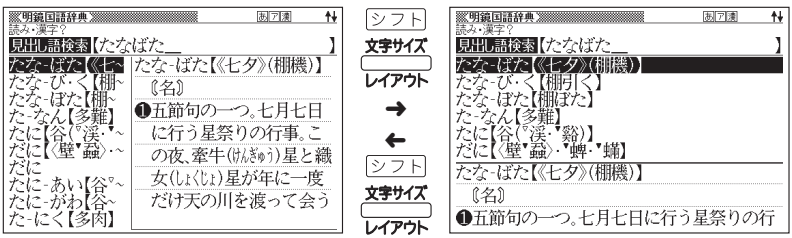
操　作	画　面
手書きパネルの【ズーム】をタッチする 画面の1行目がズーム表示されます。	
タッチして選択し、ズーム表示の行を切り替える	

- ズームを終了するときは、手書きパネルの【戻る／リスト】をタッチします。
- 文字のサイズを48ドットまで拡大できる辞典で文字サイズを16ドットにしている場合（➔ **106**ページ）は、ズーム中にもう一度同じ操作をするとさらにズームすることができます。
- ズーム表示中は、ジャンプ（➔ **87**、**88**ページ）、ページ送りなどはできません。
- 文字の大きさ（➔ **106**ページ）を最大にしているとき、解説（図や表）を見ているときは、ズームできません。

レイアウトを変える

■ ことばの一覧画面で切り替える

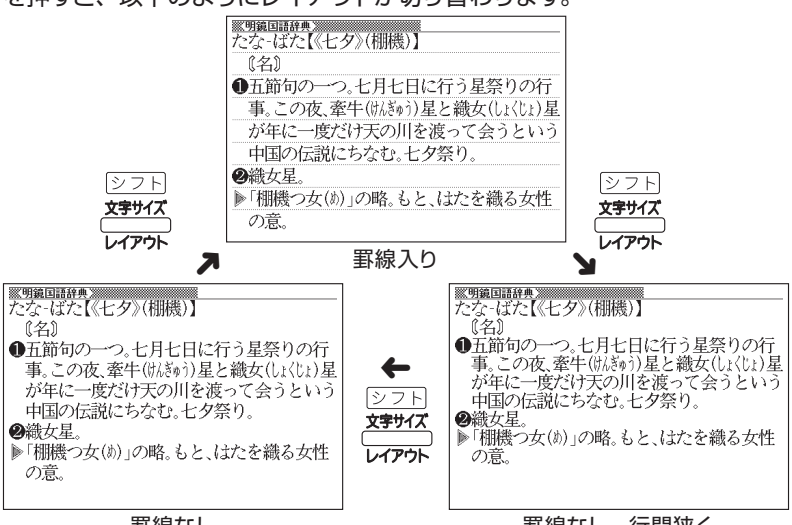
ことばの一覧画面で、シフトを押し、離してから文字サイズ／レイアウトを押す（レイアウト）と、以下のようにレイアウトが切り替わります。



- 「成句」「複合語」「ヒストリー」の一覧画面ではレイアウトの切り替えはできません。

■ 意味の画面で切り替える

ことばの意味の画面で、シフトを押し、離してから文字サイズ／レイアウト（レイアウト）を押すと、以下のようにレイアウトが切り替わります。

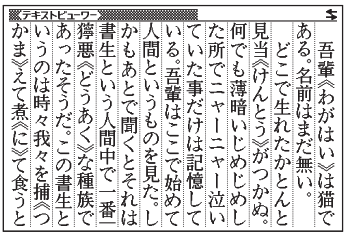


- 解説（表や図）、ガイド機能、学習用コンテンツなどはレイアウトの切り替えはできません。

次ページに続く

•本機に取り込んだテキストファイル（➔ 154ページ）の画面では、「罫線入り」の画面でシフトを押し、離してから文字サイズ／レイアウトを押すと、「縦書き、罫線入り」の画面に切り替わります。

※「縦書き、罫線入り」の画面からは、「さらに検索」「ズーム」はできません。



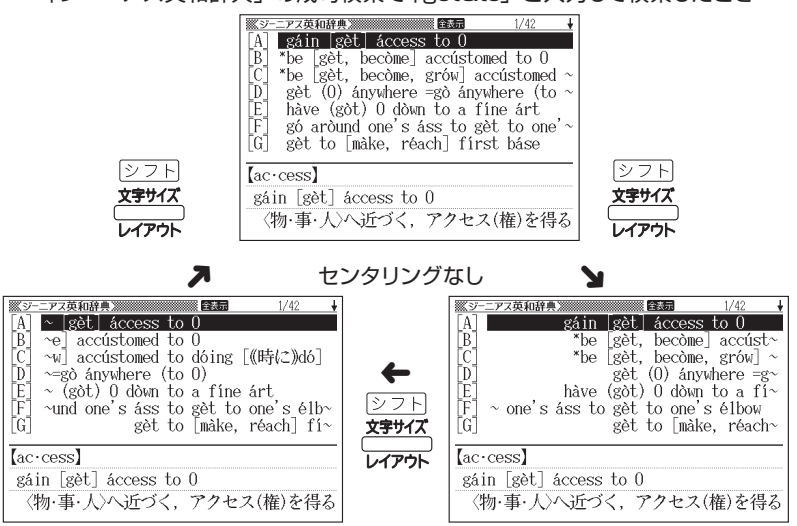
英語は横書きのまま表示します。

■ 成句／例文のリスト画面でセンタリング表示にする

英語系辞典の成句検索や例文検索のリスト画面で、シフトを押し、離してから文字サイズ／レイアウトを押す（レイアウト）と、最初に入力した単語をセンタリングして表示します。もう一度同じ操作をすると、2つ目に入力した単語をセンタリングして表示します。

例

「ジーニアス英和辞典」の成句検索で「get&to」と入力して検索したとき

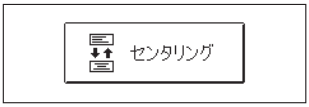


「to」をセンタリング　　「get」をセンタリング

• 入力した単語の3つ目までがセンタリングの対象になります。
• 一部の別売ソフトは、この機能に対応していません。

手書きパネルを使って

成句検索や例文検索のリスト画面では、手書きパネルは次のようになっています。



【センタリング】をタッチするごとに、センタリング表示が切り替わります。